

古言清濁考

三

止

青水齋

...

清水濱
臣藏書

古言清濁考三之卷

多部

夕力

高比賣

神号

ひ

高比賣命 上古

高比賣

名人 比

高千那毗賣 古中 孝元

高比賣

名人

ひ

高額の比

賣 古中 開化

高比賣

名人

ひ

竹野比賣 古中 開化

高額の比

鳥名又 人名

か

多詞辨 即女 古下 反正

高部 万三、十六丁

高部の比

高比賣

名人

ひ

高材比賣

古中 開化

高比賣

山 作日

高部の比

多加紀

古中神武 仁德紀 顯宗 下

多加機 武 紀 神

高比賣

吉野 あり

高城山

万三、三丁

高木神 事皆法保るれを

高部の比

雁鳥又 姓

か

多可

万十九、十二丁 続日十七丁

高比賣

大和 地名

高部の比

一 ● 多加佐士怒 古中 神武 ぬがみや 大和 地名 か ○ 多加

美夜 古下 仁徳 多加 弥 椰 同 紀 ぬかはし 大和 地名 は ○ 拖箇播志

紀武 烈 ぬかま 大和 地名 ぬか 大和 地名 多加 麻刀 万九、十一丁、十五丁、六十丁 ぬ

か 地名 一 ○ 多可之伎 万十五、十九丁 ぬか 地名 一 ○

高脚海 タカノシヅメ 統紀持 ぬかちば 日向 地名 ち ○ 多可知保 万九、五十丁 ぬ

か 高知 志 ○ 多加斯理 上古 ぬかひかる 日松 詞 ひ ○

多加比加流 古下 雄畧 ぬかみ 高御 座 く ○ 多可美久

良 万十八、十九丁 ぬか 今待 ぬ ○ 多可多可 万十五、十九丁、十八、十九丁

十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百 ぬか 仰日、仰ふ、臥ふ、胸、お、さ、す、の、坂、如、し、て、高、き

名 云 ぬか 多歌武 娜婆歌 代 紀神 ぬから 寶 か ○ 多

可良 万五、八丁
ふかれ 物の集
 か○ うど多加礼上
ふが 江

地名 か ● 多賀上多何神社 神名帳
ふがひ 違
 か ● 多

賀比 古中 多我比 万十四、五丁
ふがね 物添持 意
 か ● 手束杖

腰 多何祢 万五、十丁
タガハ下上の誤りふて、カヲネ多々ふとともふもへど、今ハ姑く本の傳ふあづつ。

夕キ

ふさりび老 神号
 ふ○ ひ ● 多紀理毗賣上
ふさ 人名 又

丹波郡名 ふ○ 多紀臣 古中 孝照 託基皇女 紀天 多紀郡 和名抄 神名帳

ふさつひ老 神号
 ふ ● つひ○ 多岐都比賣命上
ふさ

ふみ 人名
 ふ ● ー○ 多藝志美美命 古中 神武
ふさひ

二人名 ふ ● ひ○ 多藝志比古命 古中 懿徳
ふさ 出雲 地名

○ 法照考三

○ 二

夕ク

久久人名久久○
久久紀紀持持
久久ひひれれ
榜榜領領巾巾
ひひ○
細細

比比礼礼
五五九九丁丁
多多玖玖比比礼礼
結結日日
久久くくづづぬぬ
白白松松
くく○
つつ●

多多久久豆豆怒怒
古古上上
多多久久頭頭怒怒
五五九九丁丁
久久くくぶぶそそまま
榜榜被被
ふふ●
多多久久

夫夫須須麻麻
五五十十五五丁丁
久久くくししまま
地地名名
くくしし○
榜榜島島
五五七七丁丁

久久くくみみ
工工
くく○
拖拖俱俱弥弥
紀紀雄雄
久久くくががらら
土土器器名名
くく○

●
多多衢衢餌餌離離
紀紀神神
久久くくははひひ
畜畜
くくははひひ皆皆○
多多久久

波波比比
五五十十九九丁丁
久久くく
髪髪揚揚
くく○
かかとと多多久久
五五九九丁丁
妹妹ががかかくく

多多久久ららむむ
七七丁丁
多多氣氣ををめめれれ多多香香ぬぬををああららううををとと妹妹ががかかくく

六六多多計計といいへへどど
日日丁丁
ほほるるハハ誤誤スス
按按カカ此此久久くく久久けけハハ物物をを

○ 法考三

どしどしめどしど
のきハるきん

ふぐる

手して物
さくるとん

く ● 波多々藝 古
上

こまハ多具とも

五十四
十九丁

ふぐり

吐歐

く ● 多具理 古
上

ふぐひ

副

く ●

多具比

五十
十一丁

夕ケ

ふけひつやり

号神

ひ ○ 建比良身命 古
上

ふけさはやち

ぬみ

号神

けさはニツ ○ ち ●

多氣佐波夜遅奴美神 古
上

ふけふつ

号神

ふつ ○ 建布都神 古
上

ふけみかづち

号神

か ○ つ ●

武甕槌神 代紀神 健御賀豆智命 延喜
式

賀を用
ひさる

ハ正イ
うさ

ふけち

人名又
地名

けち ○

高市

紀天武万
ニ、卅三丁

ふけ

はかやま

名人

は ○ 建波尔安王

古中
崇神

ふけひ先

名人

ひ

○ 建比賣

古中
景行

ふけやよはづらわけ

名人

つ ●

はけ

はふやま 名人
 は○ 建波尔安王 古中 崇神
 多けひ先 名人
 ひ

○ 建比賣 古中 景行
 多けやふはづらわけ 名人
 つ● はけ

○ 建豊波豆羅和氣王 古中 開化
 多けりのみや 安藝 地名
 け○

多祁理宮 古中 神武
 多け 伊勢 郡名
 け○ 多氣郡 結日一和名 抄 神名帳

多け 竹
 け○ いくと 娜 開 紀 體 繼
 某多け 嶺 け○

くづふる多氣 古 上をむろぶ多氣 日下 雄畧 此多氣 万五、六 丁 紀 出

小陀を用ひ 意 多けそか けを○ 多鶏蘇香 万六、七 丁

多けぶ 健 ふ● 多祁夫 古 上多替眉 紀 神 代 多鶏備 万十二、二 丁

多け け● 多礙 紀 皇 極 多宜 万二、四 十二 丁

夕コ
 夕シ
 夕ス

越中 地名
 こ○ 多古比志 万十七、四十六 丁 多枯のう 十九、九 三 丁

○ 陸奥考三

このよびさか
地名
ひ ● さ ○ 手兒乃欲婢佐可
万十四
元二丁

腕
こ ○ 多古牟良
古下
雄畧
とむをふか通ハ
紀小陀俱符羅

してものへり、但し陀符。
を用ひするハ不正なり。
物越へ
こ ● 多誤辞

紀崇
姓
こ ● 多吳吉師
紀神
功
郡名
上野

こ ● 多胡胡音如吳、和名
抄
万系十四カハ
胡を用ひり。
みみけ

立繁
竹
多斯美陀氣
古下
雄畧
慥
多

志陀志
古下
危恭
名人
多須奈
紀用
明
手
強

多須氣
万十八
元丁
多須枳
紀神
代
多須吉
万五
元九丁
手
助
○

夕

而
楯並
多々奈米色
古中
神武
哆哆奈梅豆
月紀

ぬくたゑて 而 楯並
ぬくたゑて 而 楯並
ぬくたゑて 而 楯並
ぬくたゑて 而 楯並
ぬくたゑて 而 楯並
ぬくたゑて 而 楯並
ぬくたゑて 而 楯並
ぬくたゑて 而 楯並
ぬくたゑて 而 楯並
ぬくたゑて 而 楯並

ぬくたづく 著 疊
ぬくたづく 著 疊
ぬくたづく 著 疊
ぬくたづく 著 疊
ぬくたづく 著 疊
ぬくたづく 著 疊
ぬくたづく 著 疊
ぬくたづく 著 疊
ぬくたづく 著 疊
ぬくたづく 著 疊

ぬかふ 戦
ぬかふ 戦
ぬかふ 戦
ぬかふ 戦
ぬかふ 戦
ぬかふ 戦
ぬかふ 戦
ぬかふ 戦
ぬかふ 戦
ぬかふ 戦

ぬくさ 様 豎
ぬくさ 様 豎
ぬくさ 様 豎
ぬくさ 様 豎
ぬくさ 様 豎
ぬくさ 様 豎
ぬくさ 様 豎
ぬくさ 様 豎
ぬくさ 様 豎
ぬくさ 様 豎

ぬく 立 住 八丁十六
ぬく 立 住 八丁十六
ぬく 立 住 八丁十六
ぬく 立 住 八丁十六
ぬく 立 住 八丁十六
ぬく 立 住 八丁十六
ぬく 立 住 八丁十六
ぬく 立 住 八丁十六
ぬく 立 住 八丁十六
ぬく 立 住 八丁十六

ぬくみこも 菰 疊
ぬくみこも 菰 疊
ぬくみこも 菰 疊
ぬくみこも 菰 疊
ぬくみこも 菰 疊
ぬくみこも 菰 疊
ぬくみこも 菰 疊
ぬくみこも 菰 疊
ぬくみこも 菰 疊
ぬくみこも 菰 疊

ぬく 只
ぬく 只
ぬく 只
ぬく 只
ぬく 只
ぬく 只
ぬく 只
ぬく 只
ぬく 只
ぬく 只

ぬくこえ 越 直
ぬくこえ 越 直
ぬくこえ 越 直
ぬくこえ 越 直
ぬくこえ 越 直
ぬくこえ 越 直
ぬくこえ 越 直
ぬくこえ 越 直
ぬくこえ 越 直
ぬくこえ 越 直

ぬか 直 香
ぬか 直 香
ぬか 直 香
ぬか 直 香
ぬか 直 香
ぬか 直 香
ぬか 直 香
ぬか 直 香
ぬか 直 香
ぬか 直 香

ぬく 腕
ぬく 腕
ぬく 腕
ぬく 腕
ぬく 腕
ぬく 腕
ぬく 腕
ぬく 腕
ぬく 腕
ぬく 腕

○ 法考三

○ 五

徳

ふいふ

流飄

ふ

多陀用幣疏上

ふいひや

人凡

ふ

ひ

此ハ候ハるハ如シ定ツ

夕子

ふちかへり

立

か。多知可敵里

万十九、九丁

ふち

ふ

ふ

多知度

万十四、九丁

ふちばり

立

は。多

知婆志利

万五、九丁

ふちあざり

未考

立阿射里

万五、四丁

ふちざかゆる

立

さ

多知邪加由流

古下雄畧

ふ

ふちこも

立

こ

多知許毛

万九、三丁

ふちふた

ひ

起棚

ふ

ふちふ多知多奈妣久

万十七、一丁

ふちはけ

佩

はけ

多知波氣

古中多知波開

ふちばな

橘

ち

は

多知波氣

古中應神

多知波開

天智

橘

ち○ は●

多知婆那

古中應神
万葉集中

多知麼那

紀天智
紀よ

播を用ひる事波を
用ひるハ石正

ぬちま

名國

ち●

多遲麻

古中
懿徳

ちをぼる
吹と皆同し

ぬちまもり

名人

ち●

多遲麻毛理

古中
應神

ぬち

ちよもろま

名人

まく○

多遲摩母呂須玖

古中
應神

ぬち

まひぬ

名人

ひ○

多遲摩斐泥

古中
應神

ぬちまひならさ

名人

ひ○

さ○●難定

多遲摩比那良岐

古中
應神

ぬちまひ

ぬか

名人

ぬ○

多遲摩比多訶

古中
應神

ひぬかといふは是れ
へてふともはべし

ぬぢひ

河内地名又
姓又虎杖

ち●

ひ○

多遲比怒

古下
履中多治

比君
古下宣化
姓氏録

反正紀ふ多遲花とあるハ
の下ニ比の字の脱とるハ

ぬぢか

カ手
ち●

多治可良

万十七
九四丁

天手カ男神の傍
是れふとへてはべし

夕ツ

ふつふやま 大和地名 つふ○ 多都多比山 万十五丁 ふつか

づゑ 手束杖 上、つかト○ 下、つ○ 多都可豆惠 万五丁 ふつ

こも 防壁 こ● 多都基母 古下履中 ふつ 龍 つ○ 多都 万五

丁十 鳥名 つ● 多豆 古下九蒸万十八丁 都を用ひと ふつ

ね 尋 つ● 多頭祢 万十九丁 多豆祢 万五丁 ふづふづ 万

つ 金の つ皆● 多豆多頭思 万四丁 都を用ひと ふ

ふづさはる 携 つ● さはら○ 多豆佐波利 万十八丁 ふ

つ 手著 つ● さ○ 多豆伎 万十八丁 後世つとを法とせ ふ

都を用ひと も ふつくり 手装 つ● 拖豆矩梨 紀皇 ふづ

かひ 田地事物 つ● かひトラ○ 陀豆歌毗 紀欽 毗用

も正し... 装... 拵豆知... 極... ぬ...

かひ

田地、事物
する使

つ ●

かひ ○

陀豆歌毗

明紀欽

毗は
を用

ひと依ハ正
し

夕テ

夕ト

ぬてまつる

奉

てつ ○

多氏麻都良世

上古

多氏麻都流

十

九ノ四十一丁
元ノ元五丁

豆を用ひと
るハ正

ぬてまつる

奉

ぬ ●

奉出

上古
ぬて 楯

て ○ 多豆
五九
元八丁

ぬて 蓼

て ●

取所入

御船之楯而下立故号其地謂楯津於今者云日下之蓼津也。

古中 至草香津植盾而為雄詰焉因改号其津曰盾津今云蓼

津記也 是楯と蓼と信は
の異なるゆゑ

ぬて

伊勢
地名

ぬ ●

多度神

続日世七
神名帳
二ハハカカキ書
を足あらし

ぬて

ぬハ發
悟遠

ぬ ●

多

○ 後編考三

○ 七

騰保美 万十七、元
丁、元三丁。
多騰伎 万十七、
三处 多度

伎 十五、元八丁
十三、元丁
登土を用ひとる
ハ心しうしす。

夕ナ
夕ニ
夕ネ

ぬなかみ 近江、地名
か○ 多那伽弥 紀神功
ぬなら 地名
く

○ 多奈久良地 万十九、
四十一丁
ぬなま 手末
屯○ 多那須

衛代紀神 ぬなま
手 掌
そ○ 陀那則孿 紀顯宗
ぬなばぬ

機棚 は
● 多那婆多 古上、紀神代
万多ふ波を用ひぬるハ心しうしす
又、夕ナバタツメといふハつと

後世タニバとる
ハ字まふうつりし
ぬのは 國名
は○ 且波 古中開化、万
十三、元五丁

ぬおかく 蟾蜍
上、く ● 下、く○

多尔具久 古上、万
五、七丁。
ぬおちかく 谷
ち○ 多尔知可久 万
十

九、元
六丁
云くぬお それぬおこれぬお
ふるでさ
ぬ ● いと陀尔 万五、
五丁 かく太

多尔具久 古上。万
九七丁。

ぬちかく

近谷 ち○ 多尔知可久 十

九ノ元
六丁

云くぬ小

それぬ小これぬ
ふるどら

ぬ●

いと陀尔 万五、
五丁 かく太

尔 十四、
九丁

紀ふ多推を用い
とるハ石正。

ぬぬから

故種

か○ 多祢可良 万十五、
五丁

夕ハ

ぬはこや

言戯

はこ○

多波許登

万十七、
九一丁 多波礼

九、十
七丁 用婆と

とふ
石正

ぬはみづ

葛和

は○ つ●

多波美豆良

万十四、
九六丁

ぬはなれ

放手

は●

手婆奈禮

万十四、
九五丁

ぬばさみ

挾手

は●

多婆左美

万十六、
九丁

九ノ四十二丁よ太波左美
とよハ正しう

ぬばる

ハぬ

発語
走シ

は●

多婆之里

万九、
九一丁

ぬばる

ぬハ発
語廻ニ

は●

多

婆良婆

万九ノ四
十二丁

夕ヒ

○ 法考三

八

多比理岐志麻流美
ひさし皆○

神上古
多比良宜
平
け●
十一丁
火手
ひ

● 多妣 代紀神
度
ひ●
や多妣
十九丁
比を用ひ
るハ不正

多婢末祢久
十九丁
多比
旅

ひ● 多妣
十五丁
多婢
十六丁
非比を用ひ
とるハ不正
多比ころも
旅衣

こ○ 多比巳呂母
十九丁
後世に
るハ誤あり
多比
旅人

下、ひ○
出紀推古、卷ふ多比等とあるハ正し
旅のひハほるるれバ必ほるべきと云あり

多婢
十八丁
多杖
二十丁
多婆

利
十四、十七丁
十八、十九丁
多比
瓢
か○
陀毗盧箇

須紀神

夕フ

須代紀神

夕フ

ふ

志摩郡名

ふ

答志

續日八和名抄神名帳

ふ

貴

や

多布斗久

古多輔妬句

紀神代

多不刀久

万十八丁

ふ

れ

狂人

ふ

多夫礼

万十七丁

ふ

磔

ふ

て

多夫手

万八丁

ふ

田家又人名

ふ

せ

多夫世

万十丁

多夫勢

續日十卷

夕

ふ

神号

ひ

玉依毘賣

上古

ふ

紀圍地名

つ

玉出嶋

日本後紀三代実録

年をへて治れよるる玉の

かぬさとしをえあむ玉いづる

あつは

つよは

ふ

○ 法信考三

○ 九

地名 多麻提 紀天

多麻提

手玉

て ● 多麻傳 古

万葉集 提を用ひ

多麻提

武藏地名

か ● 多麻河泊 万十四丁

多麻提

多麻提

多麻伎

万十五丁

多麻加岐

串玉

く ○ 多麻俱之 紀神代

多麻加岐

垣玉

か ○ 多麻加岐 古

雄略 誤

多麻提

玉

け ○

拖摩該 紀武烈

多麻保

玉 盤 び ○ 拖摩暮比 紀武烈

多麻保

玉

ぼ ○ 多麻保

許万十七, 六六丁, 四十二丁, 四十四丁, 十八, 卅丁

誤

多麻保

は ○

多麻波夜須 万十七丁

多麻波夜須

玉

つ ● 多麻豆佐 万

七, 卅丁 卅九丁

松

さ

多麻岐波流 古下 多茶

春破屢 紀 多摩枳波流 万五丁

多摩枳波流

靈

ち ● 多麻

治波布 万十一丁, 卅八丁

多麻提

魂

い

多麻之比 万十五丁, 卅六丁

治波布 万十一、
九八丁

魂

多麻之比 万十五、
六六丁

多まばはさ

玉

上は●

下は○

多麻婆波伎

万九、五
十八丁

こはあふかるる書ろくを決りて
ハシイろくれど姑くろりぬ。

云く多まふ

賜

多○

多ド

免多麻比て

万十八、
九二丁

免多麻敵流

同九
二丁

太倍を用ひ
くハ不正。

夕ム

夕モ

夕ヤ

夕ユ

多むけ

俗小峠
と書

け○

多武氣

万十五、
九一丁

多子中

袂

中○

多母登 万十四、
十九丁

多やま

人名

ま○

多益須

統紀持

多ゆ

地名

ひ○

多由比我多

万十四、
九二丁

多ゆま

豫猶

多ふ○

多由多敷

万十七、
九丁

倍を用ひとる
ハ正し〜。

夕ラ

夕ル

夕レ

夕ワ

○ 倭考三

○ 十

多良知

神功皇后

一ひ〇

息長帶比賣命オキナガタラシ 古中多良志比

賣

万五十一丁十五丁

多良知

母姓 松河

ち〇

多良知祢 万十四丁

五、卷か、ち遅、ち斯、とあるハ、字一誤りあるべし。

多良知

越中地名

ひ〇

多流比

多良知

万十八丁

多良知

佩 鋌 垂

は〇

多黎播枳 紀武烈

多和夜賀比那

手弱

か

多和夜賀比那

古中景行

知部

チカ

チク

チオ

ちか

地名

か〇

知訶島 古知駕嶋 続日 十三

ちかづく

近着

知可豆伎

万十八丁

知可豆久

十七丁

ちくま

信濃地名

難定

知具麻

万十四丁

知名鈔、ハ筑摩を豆加萬とよめ、筑のくハ信濃

多良知

ちさ

さ〇

知左 万十八丁

○ 葉定 矢長房 十一丁 といふ名め、筑のくハ住まふ

るも、ふるまはれ具を用ひ
〜ハ東分中名りや。

ちさ 名草 さ○ 知左 万十八、
六六丁

千又 千、 千ト

ちふ 尾張、地名 ぬ○ 知多、臣 古中 孝照 知多比浦 万七、
十四丁

まゆかひ免 名人 ひ○ 千千速真若比賣 古中 孝聖

ひ免 名人 ひ○ 千千速比賣 古中 孝聖 ちつとやまやひ免

名人 つくひ皆○ 千千都久倭比賣、命 古中 崇神 ち父 ち

○ 知知 万七、
六六丁 ち 名木、 ち○ 知智比み 万十九、
十四丁 ち

せ 千 歳 や○ 知登世 万九、
十三丁 ち中 鳥 千 や○ 知登理 十 万

七、四十 五丁 ちがゆ 名鳥 や● 知杼理 古中 神武、万 十九、四十七丁、 知耐理 神紀

代 登等を用ひる
ハ心一う〜

○ 後留考三

〇十一

千ハ
千フ
千ラ
千リ

ちはやぶる 冠
 ちはやひや 冠
 ふ ● 知波夜夫流 古中應神。布を用ひし。万七、五十丁。ふハ不正。

ちはやひや 冠
 ひ ○ 知波夜比登 古中應神
 知破椰臂等 紀仁

徳
 ちば 地名
 は ● 知婆 古中應神。紀日。
 ち ○ ちぶ 東園の郡名。ちぶと云ふ。あり。ちぶとてふる。万七

九ふ知波乃奴と
 ありハ遠きと云ふ。
 ち ○ ちぶ と云ふ。約ニ
 ち ○ ちぶ あり。ちぶとてふる。万七

万七、
 十五丁
 てふまのち知布 八、七丁
 ゆく智布 五、七丁
 ちぶ 越中、地名

ふ ● 知支利 万七、七丁
 ち 散
 へ ○ 知良敵流 万十

五、七
 五丁
 ちりひぢ 塵泥
 ひ ○ ち ● 知里比治 万十五、一丁

○ 都部
 ツカ

つか
 人名
 か ○ 都加使主 紀應掬直雄
 つか
 陸奥、地名
 か

○都部
ツカ

つか
名 人
か ○ 都加使主オミ 紀應ニ 掬直ツカ 雄ヲス
つか
陸奥リウオウ 地名
つか
東見ツカミ

○ ● 難定 都加留ニ 明紀ニ 斎ニ 一処ニ の
つかむ 搏ツカム か ○

万十六、十五丁
つかへ 仕
〜 ○ 都加敵ニ 四丁ニ 倍ニ を用ひニ るニ ハ不ニ 正ニ

つかはを 遣
は ○ 都加播佐礼ニ 一丁ニ つかぬ 津圍ツカミ 地名

か ● 菟餓野ニ 紀神ニ 都賀野ニ 万十一丁ニ つかやま 近江ツカヤマ 地名 か ●

都賀山ニ 紀持ニ つか 名木 か ● 都賀ニ 万三丁ニ

ツキ

つさう 急居ツク さ ○ 菟岐子ツク 紀崇ツク つき 月又ツク さ ○ 都紀ツク

古中 都奇ツク 万十八丁ニ つさふら 月ツク 又ツク 始ツク るツク 〇 都奇多都ツク 万十

七、三丁 月 〇 月期ツク 吕ツク 万四丁ニ 月其ツク 吕ツク 八、九丁ニ

○ 法皇考三

〇十二

つさくさ 名草
つさくさ 〇 月草 万十二、
つさくさ 〇 名木
つさくさ 〇 都紀

古下 雄畧 菟區ゆみ 功紀神
つさくは 〇 橋繼
つさくは 〇 山城、
つさくは 〇 都藝波

思 万十四、
九丁 繼のさ、小伎を用
つさくぬふ 〇 山城、
つさくぬふ 〇

都藝泥布 古下 鬼藝泥赴 同紀
ツク
ツケ

ツク
ツケ

つくは 常陸、
郡名
は 〇 都久波 古中景行。
紀曰、万葉。
つくな 〇

地名
く 〇 都久怒 万十六、
一丁
つく 〇 筑紫 古上、
万九、

丁、
三
つくろ 作
く 〇 都久理 古下
都俱唎 紀繼
つく 〇

鳥名又
人名
く 〇 都久宿祢 古中孝元。
木菟宿祢 紀仁
つく 〇

衝
く 〇 都久 古下
清寧
つく 〇 盡
く 〇 都奇 万九、
四丁

つく 〇 著
く 〇 都祁 万九、
六丁
つけ 〇 大名和、
け 〇 都祁

衝
く○
まび都久
古下
清寧
つく
盡
く○
都奇
万七、四
十九丁

つく
著
く○
都祁
万七、六
六丁
つけ
大和、
地名
け○
都祁

古中
神武
鬪
鶏
紀仁德
雄畧
ほるハ
誤

ツタ
ツチ

つゑ
葛
ふ○
都多
万九、
三三丁
某づゑふ
傳
つ●
いと豆

多布
古中
景行
も、豆
多布
應
も、逗
拖甫
紀
顯
宗
とよ豆
多比
万七、
七丁

つち
土
ち○
都知
万九、
三三丁
都智
五、七
丁
地。古用い
ふハ不正
つち

くも
土
蛛
く●
土具毛
古中
神武

ツ、
ツ

つゝき
山城、
郡名
つゝき○
都都紀
古下仁
徳紀同
つゝく
啄
つく

○
都追伎
万十六、
九丁
つゝ
鳥
名
つ○
都都
古中
神武
えゝつゝ

○ 陸奥考三

○ 十三

つ○ うめひ都都古中仲哀 うめひ菟菟紀神功 と都追十五

九、十 此言狩多、うめども、
五丁 畧きぬバヤと云つ。
つ○ 名木
つ○ 上、条ふて
つ○ 管、自

万二、卷 都追慈十三、十四丁
つ○ 管
つ○ 包
つ○ 都

恙 都追牟こととるく万十五、十四丁
つ○ 包
つ○ 都

々美万十八、十四丁
つ○ 堤
つ○ 都追美万十四、十一丁
つ○ 鼓

つ○ 都豆美古中仲哀、紀神功
つ○ 續
つ○ 豆豆企紀神代

る系五ふ都也
用ひとるハ不正。
つ○ 負ラ動ス
つ○ 都豆之

呂比万五、十九丁
つ○ 草蔓
つ○ 都豆良古中景行 菟頭羅紀

助 詞 ちり都古中崇神 まへ菟と
紀景 行 おさ都とかみ

万十八、
九三丁 いは都十四丁 と追かむあや万十九、二丁
紀ふ番豆を用ひと
ふハ正しうす。

づ 出のいよ
畧ふん
つ○ 豆つも万十四、十八丁 こや小豆万十九丁

万十八、いほ都日元
九三丁、いほ追あひあや
二丁、紀小面豆を用ひし

づ 出のいよ
累よん
つ ● もみほひ豆つもハ出り
万十四、こぞ小豆 月元
十八丁

もみほひ豆つもハ出り
もみほひ豆つもハ出り

ツテ **ツト** **ツナ**

つてこぞ 傳 言 二〇 都底舉騰 紀天 騰を用ひし
つ ● 累

せ ○ いへ豆刀 万十五、
八丁、やよ都刀 九、十
つぞへちぬ 神号

せ ● へち ○ 都度閉知泥、神 上 古
つぞひ 集 せ ● ひ

○ 都度比 古上、万六、十、
七丁、十八、九四丁。
つな 魚名 一 ○ 都奈之 万十
七、四

十六 丁 **つなぐ** 繫 居那藝 紀神 都那遇 齊
武 伎を用ひし
ふハ不正。

ツヌ **ツネ** **ツハ**

つぬが 越前、地名 か ● 都奴賀 古中 都怒我 紀垂
仁

○ 法考三

○ 十四

一 二もり豆麻 十九丁
都を用ひしハ、
六丁カ。稲日都麻とあるハ、
六丁カ。稲日都麻とあるハ、
六丁カ。稲日都麻とあるハ、

つみか
枯摘
か○ つも可良志 五十四、十九丁
つむ

一 飄
こハカキ書ハ、
こハカキ書ハ、
こハカキ書ハ、

ツユ
ツラ
ツリ
ツル

つゆしも 霜露
一○ 都由思母 五十四、五丁
都由之毛 十五、十六丁

つなご 神号
い● 頬那藝神 上古
熟
つ○

都良都良 五十一、九丁
えいつらく
つく○ 白都良久

上古
えいつらむ 辞
つ○ 妹見都良武 五十二、十九丁
豆を用ひしハ、

つりふね 船釣
ふ● 都里夫祢 五十八、八丁
つるはみ 椽
は

○ 都流波美 五十八、九丁
一処ハ、
一処ハ、
一処ハ、

めさばる 劔の柄を 堅く握
さト上
か○ 都廬春能多加弥屠

○ 都流波美
九七丁
くれど姑くあぐ。

めさばる

堅く握る
剣の柄を

さば

か

都盧春能多加弥屠

利辞魔屢

紀神 春を用ひ
武 ぶハ不正

つるぎぬち

刃木

都

流藝多知

万五、九丁、十四、九
三丁、九、五十一丁。

○ 豆部

テケ

テコ

テシ

てけりてけるてけむ

辞

け

うゑ豆家流急

万九、五
十五丁

豆家牟うも

十五、
九丁

ほろハ

てこな

称

こ

氏胡奈

万十四、
九丁

て

願

か

おはまも今もえ豆之可

万五、
十丁

すめ皆今ハえ天之可

八、
七丁

辱をついひええ豆之可母

十五、
二丁

いそい豆之加母

二、
丁

あゝのふひぢりふあり豆之可

四、
二丁

○ 法考三

○ 十六

乳紀神

云してな

月

て○

さこえ底那

紀雄

そてハ

ふめ底奈

万十四丁

さみろくそへ

底奈

十七丁

テハ

テフ

テム

テラ

云てば

ふろく

て○は●

さぬくさぬ底婆

古下 允茶 あ

ひくろく天婆

万十八丁

つみろく

豆婆

十五丁

さくろくせ底婆

十七丁 さくろく

兄底婆

波を用ひる

てぶめ

風俗 ふ●

提吏利

万五丁

云てむ

辞

て○

又ぬ

天武

万十四丁

ちくろく底牟

十八丁

てさひ

未考

さ○

天良佐比

万十八丁

○登部

トカ

トキ

ゆかま

利鎌

か○

斗迦麻

古中 景行

ゆがぬ

津園地名

か●

斗

○法部考三

○十七

賀野 古中 仲良
やがり 鳥狩
か ● 登我里 万十四、十七丁
やが 咎

か ● 登我 万十四、十丁
やさちかみ 時近
さち ○ 等伎知可

美 万十七、十八丁
やさやさ 時々
や ○ ● 難定
等枳等枳 紀統 等伎

騰吉 万九、十六丁
やさく 時不
● 登岐士玖 古中 等伎自久

万葉 又多
やさは 常磐
は ○ 等吉波 万十八、十一丁

トク
トコ
やぐ 解
く ○ 刀氣 万十七、十七丁
やぐ 磨
く ● 刀具 万九、十一丁

やこぬち 神号
ぬ ○ 天之常立 神訓 訓常云登許訓立云

多知 上古
やこ 名人
こ ○ 得許 紀天

やこぬち 名人
ぬ ● 德太理 万十七、十四丁

● 德太德陀 紀皇 極
やこぬち 名人
ぬ ● 德太理 万十七、十四丁

得太理 万七、十丁
按不鎌足 もろもろ
やこぬち 名人
ぬ ● 德太理 万十七、十四丁

● 德太理 万十七、十四丁

徳太徳陀トコトコ 紀皇
 極
 名
 徳太理トコトコ 万十七
 十四丁

得トコ太理 万七
 卅丁
 按不鎌足もむもほもほま
 るべし。其ありともほほ
 やこーへ 常 へ○●

難定 等虚辞陪口 紀允恭万
 九、九丁。
 陪ハほほまめどもほほまの閑ふ通ハ
 て用ひとる処もあられ。定先とる。

やこやば 常
 は● 常登婆 万二、卅丁
 仏足石哥
 やこなつ 常 つ

○ 等許奈都 万十七
 四十丁
 やこは 常
 は○ 登許波 万十四
 十六丁
 や

ころづ 葛 解
 こ○つ● 登許呂豆良 古中
 景行 万九、九
 都を用ひ

不正。ハ
 やこのべ 床 へ● 登許能辨 古中
 景行 やこよ 作
 曰

底依 国こ こ○ 登許余 古中
 仲良 等虚豫 紀神 等已喫のくふ 万五、
 卅三丁

やごころ 心利 こ● 刀其己呂 万七、四
 十五丁

トサ トシ トタ トチ

やさ 名国 さ○ 土左 古上、万六、
 卅六丁。
 やーのは 毎
 ーは○

○ 法考三

○ 十八

● 等騰已保里 万四、十三丁

やぶむ

留

や●

等騰米 万七、七丁

登等を用ひてさハ正しておす。

やこり

極

や○● 難定

夕塔其満の登等

美 万九、九八丁

一処ありて定めし。

云くやふ

云くせぬうちよト云フ詞ニ

や○ こひ

志るぬ刀尔 万十五、三丁、四丁

さおふけぬ刀尔 十九、十四丁

よけふけぬ刀尔

十、十六丁

さかへる刀祢 三丁

紀小度を用ひしハ不正。

やねがは

川か

● 刀祢河泊 万十四、十三丁

やのぐもり

曇棚

● 等能具毛利

万十七、四十五丁、十八、三三丁

やのぞ

戸殿

や●

等能渡

紀崇神

等能度

万十八、六丁

トヒ

トフ

トヘ

やひ

伊豆地名

ひ○

刀比

万十四、七丁

やひか

問

ひふ○ 斗

比 古中景行 万九、四十三丁

やひう

蝦夷地名

ひ○

問竈此

云塗毗宇ト紀ト脊ト明

毗を用ひしハ不正。

やびかけ

飛翔

ひ●

か○

等弭箇慨梨

トラ

トリ

トロ

やらへ

取

へ

等羅倍

功紀神

倍を用ひし
るハ不正

やみつぎ

取著

つ〇 等里都吉

万九ノ廿四
丁、卅三丁

やりはく

取佩

は〇 等里波

伎

万十八ノ廿二丁
十九ノ十四丁

やりが

取枯

か

登理賀良斯

古中
應神

やろのいけ

地名

一〇

取石池

万十ノ四
十二丁

石ハ清
修ス

やろ

ぎ

物のとろ
けここ

ぎ

斗呂呂岐

古上

岐ハ尾尾定ラキ
ぬどいすい
きのさもほき
うれバゆへへて

景行
苔塙伽

紀

いこうとらふ
よきひし

やをか

十日

か

登袁加

古中

〇 那部

ナカ

なかつひ先

人名

ひ〇

忍坂之大中

比賣

古中
應神

田中

中比賣

比賣

古下 中比賣宣
仁徳 化
なかにのみ
姓中
空○ 奈加等美
五十七丁

なにか
讚岐筑前
常陸郡名
か○
中乃水門
万二丁
那珂
万五丁
和名抄

賀を用ひる
なにかち
仲子
ち○
奈可知
万十四丁
出紀ノ仲をる
かちとよめり

なかぶをれ
中折
なかにを
奈可太牟礼
万十四丁
なかなか
却

か○ 奈加奈可尔
万十七丁
なかにを
懸名
か皆○ 名

可加須
万十七丁
ながひを
名人
ひ皆○
長日比賣
古下
仁徳

ながをい
名人
ひ○
長目比賣
古下
なかにをち
名人

ち○ 長尾市
紀無
市ハ訓まれども
ながをぬびこ
名人
是

○ かひ●
那賀須泥毗古
古中
神武
なかに
紀伊
郡名
か●
奈

我 続日
三卷
那賀賀音如鶴
和名
なかに
地名
か●
中○
奈

我乃比志ま
万十五丁
ながひを
長命
人
ひ○
那餓辟等
紀

我 三續日 那賀賀音如鶴 抄和名
 ながや 地名
 か ● や ○ 奈

我刀比志ま 万十五丁
 ながひや 長命人
 ひ ○ 那 餓 辟 等 紀

徳 ながてながち 道長
 てち ○ ち 此 奈我 万十五丁
 ひ

み 此 奈我道 丁 道ハ河まれどもかまほれをほづ。
 道之長乳齒神の歩名もきかひと

流 か ● 那峨例 紀 奈何礼 万五丁
 ながへ 在 経 か ●

へ ○ 奈我良倍 万十九丁
 倍一倍を用ひとる

ナキ ナク ナケ ナコ

なご 地名 なご ○ 那春野 紀 持倉 万九丁 演 十三丁
 なごさびこ 神号

又波 さひ ● 那藝佐毗古神 古
 なご

水 なご ● 奈疑 紀 奈宜 万十四丁
 伎を用ひとる

り なご ● 奈疑 万十九丁 奈具流 万七丁
 なご

○ 後河考三

〇 五二

風の

さ ●

奈藝

万十七、四

奈祇

八丁

なく

鳴

く ○

那久

古下 奈春

紀仁

万五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百

なごさむ

慰

く ●

奈具佐

万十八、十九

なげさ

息 歎

け ●

那皚矩

紀 継

奈宜

久

万五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百

なごや

和

こ ●

奈其夜

万十四、十五

四、卷小、奈胡也とあるハ不正なるハ正

なご

越中、津、地名

こ ●

奈吳

万十八、十九、二十

七丁、十七、十九、七、十三丁

ナサ

ナシ

ナス

ナセ

ナソ

なさかのうみ

常陸の海の名

さ ○

奈左可のうみ

万十四、十一丁

なご

梨

○

なご

梨

万六、十一丁

なご

下野、郡名

なご

那須

万七、八丁 和名抄

なご

戸、関

なご

那須やのうみ

古、上、那周

いふと

万五、九丁

なご

大平、日、似

なご

やがはえ

那須、下

那須 万七、卅丁
和名抄

なむ 戸

なむ ○ 那須やりのと 古さ那周

いふと 万五、九丁

云、なむ

大平日、似

なむ ○ やがはえ那須 下古

仁とをハ奈周 万五、十丁

まふま奈須 十三、十二丁

古中能須 古中 應神 浪ふあ

ふ能須 万十四、十三丁

なせ 人、美、詞、祿

せ ○

那勢 古上

なせ 寐

せ

○ 那世 古上、万二、丁、奈左 祿 十四、十一丁

なそへ 准

そ ○ 奈曾

倍 万六、四十六丁、八、十九丁、十八、十丁、九、十三丁

ほみ得え、又倍を用ひるるもいしうしう

ナ夕

ナツ

なむ

海、云

ふ ●

ひぢら、能奈太

万十七、七丁

なむむ 宥

ふ ●

奈太每 結日 宣命

なつくと

夏草

つく ○

那都久佐

古下 危 蒸、五十

丁、四、八

なつみ

吉野、地名

づ ○

夏實

万三、六丁

なつと

馴

つ

○ 奈都氣 万五、十七丁、十九、十九丁

なつかし

上、条 二同

つ ○

終、か みる、八

○ 法原考三

○ 元三

なつく 著名 万八、十六丁
なつみ 没 万

那豆美 古上、中景行 万
なつみ 作日水、著 万
奈豆佐布 万

五、四丁 都を用ひし 万
なつみ 作日、附田、万
つ 万

豆岐田 古中 万
なつみ 此説古事、記傳、万
那豆能紀 古下、仁德、万

紀應 神 万
なつみ 撫 万
つ 万
奈泥 万、十二丁
豆を用ひし、万

ナテ
ナト
ナニ
ナノ

なてり 瞿 万
奈泥之 故 万、十九、三十、丁
豆を用ひし、万

なぞ 人名 万
や 奈梓麻呂 万、十二丁
なぞ 長 万、六丁

那梓理 古上 万
なぞ 何 万
那梓 古中 万、六丁
奈騰 万、十丁

なほ 津、國、地名 万
は 万
なほ 難波 万
ち 奈尔波 治 万、五丁

かきづきし得し。且波を
ふんをとりふも此は
なほはち 道 万
ち 奈尔波 治 万、五丁

なほは 地名
は ○
又後世もんをとやうなるハヤ

かきづもし得こ。且波を
ふんをとりも此やん

なほはち

道難波

ち ● 奈尔波治 万九、
五丁

なほはつ

津難波

つ ○

奈尔波都

万九、十七丁、
六丁、八丁

ほは

なほはや

海難波、
門

や ○

奈尔波刀

万九、
九丁

なほはひや

難波

ひ ○

那珥波辟言答

紀仁

ほは

なほはそ

藻名

そ ○ 奈能利曾

紀允

ナハ

ナヒ

ナフ

ナヘ

ナホ

なほり

海草

は ○

奈波能里

万九、
十九丁

なほり

苗代

は

○ 奈波之呂

万十、
五丁

なほつ

絶繩

はふ ○

奈波多

都こま

万九、
十二丁

なほり

伊賀郡
名又隱

は ●

那婆理

古中
安寧 隠

丁 五

なびや

人汝

ひ ●

那鼻苔

紀允

なひく

麻非

ひ ●

○ 法考三

○ 九四

儼弭企紀顯 奈妣久万九, 十 奈婢久曰五十
宗比。を用ひる

なぶる黽 ふ ● 奈夫理万十五, 卅五丁 なへ 鍋 へ ● 那陪

紀仲 哀 云くなべ 並 へ ● かぐ那倍て古中景行紀同 申づる奈

倍まろと万十四, 卅三丁 さく奈倍五, 十, 八丁 たく奈倍十八, 十 九丁

す奈倍六, 卅六丁 よろし奈倍一, 卷三, 卷六, 卷十八, 卷 なへ 苗 へ ○ 奈波之呂万十, 四, 卅

二又へおえお通ハしとていふまゝ
ていふまゝをてきまゝいへり。

五 倍。を用ひる。 丁 八不正。 なほび 神 号 ひ ● 神直毘, 神大直毘, 神

上古 なほ 猶 ほ ○ 奈保万九, 四, 十三丁

ナニ ナ三 ナラ ナリ ナル ナレ

なまを 膾 是 ○ 奈麻須万十六, 卅丁 なみぬ 浪 ぬ ○ ● 難

定 那美多古下仁徳紀 奈美太万九, 卅, 四丁 なみぬぐむ 涙を催え

なまご

膾

も○

奈麻須

五十六
丁

なみみ

波

み○

難

定

那美多

古下仁徳紀
同五五、六丁

奈美太

五九、一
四丁

なみみご

波を
催へ

く●

那美多具麻志

古下仁徳

那弥多愚摩辞

紀

波具末之

三、五

五十

二丁

芦のつゝのふみ本のまゆめ
まど。ゆゝへて留るべし。

なつらち

奈良道

ち●

奈良

遅

五五、
九三丁

奈良治

十七、
九丁

ならひや

奈良人

ひ○

奈良比等

十、五

九、
丁

なつび

並

難波、
地名

ひ●

は○

那羅弭破茶

紀仁

なつび

並

ひ●

那良毗

五五、
五丁

奈良倍

九、
四十

敷を用
ひとる

ハ不
正。

なつりのまか

地名

ひ○

奈良思之岳

八、
丁

なつり

はひ

産業

は○

奈里波比

五十八、
十二丁

なつりは

鳴る
めく

は

○

鳴波多と

免

五十九、
四丁

なつり

鳴澤

さ○

奈流佐

波

五十四、
四丁

なつりご

弊

こ●

奈礼其呂母

五十五、
十一丁

○ 後考三

○ 九五

○迹部

ニキ

小ざみぬづ

伊豫地名

ぬ○まづ●

熟田津此云你枳陀豆_一紀

明 小ざて

和布

ま●て○_○尼枳底_代紀神

てをぼる

小ざみぬま

和魂

ま●珥岐珥多摩_紀神

此三条のまハ後ま

ど狩るまどと通ひて。ぼまうまどく思へを今ハ
姑くぼと定めつかくて枳を用ひたるハ不正。

小ざび

俗ニまづと云言ニ

●ま○●難知

柔備_{ニキ} 万一_九丁

小ざはをひ

神_号 ま●

ひ○ 你藝波椰甲

紀神 甕速日神_燂速日神まづのひと

ざーがは

能登地名

ー○まか●

尔藝之河波

五十七_五丁

けふ

饒

ニキ 饒速日命_武 饒崇_{ニキ} 神

小ざる

握 ま●

尔藝利

五_十丁

伎を用ひし

ハハハハハハハハハハ

饒速日命 武 饒崇神
 小 ぎる 振

尔 藝利 万九、五十一丁
 伎を用ひよる
 ハシロウヨウゾウ

ニク
 ニコ

尔 苦久 あり ば 十四丁
 小 ぐろし 黒く

尔 具漏岐 古中 應神
 小 ぐ 逃 ぐ ● 尔 宜 古下 雄畧 尼号 紀

尔 古夜 上古
 小 こよか 負 笑 小 こぐさ 草 和 二〇く ●

尔 古具左 万十四、七丁 九、十四丁
 小 こよか 負 笑 二〇 尔 古餘可 万

尔 故余 漢 十一、九丁
 今ハ漢ト
 小 こごり 濁 二 ● 尔 其礼留 万十四、一丁

今ハ漢ト
 小 こごり 濁 二 ● 尔 其礼留 万十四、一丁

ニシ
 ニナ
 ニハ
 ニヌ
 ニノ

西 一〇 尔 斯 古下 尔 之 万十五、七丁
 小 じき 錦 一き

○ 修 考 三
 ○ 九 六

○ 迹之枳紀允 尔思吉万十四
尔九丁 荷 比万十四 尔九丁 尔九丁

比万十八 比十七丁 号神 迹迹藝命上古 尔能保万九
云布

く ● 尔努具母万十四 小のほ 總舟 尔能保九丁

二ハ 二ヒ

ふはか 俄 是か○ 尔波可万十六 小は庭 是○ 尔波

万十八 十一丁 小はぬづみ 雨のあめて俄ふ 水の流るるを云 ぬ○ つ ● 尔波多豆

美 万十九 十三丁 八丁 七、八六丁 庭立水 小はつぢり 鶏 や○

尔波都登理上古 你播都等喇紀継 小ひばり 常陸郡名 是 ●

尔比婆理古中 珥比磨利紀 小ひぬ 上野郡名 ぬ○ 尔比多

万十四 十二丁 小ひかは 越中郡名 小ひぬ 尔比可波万十七 小ひき

さ○ 尔比佐伎母利万九 小ひくさ 新防人 草新

万十四、十二丁
 小ひかは
 越中、郡名
 か○
 尔比可波
 万十七、九丁
 小ひさ
 新草

新防人
 さ○
 尔比佐伎母利
 万六、十九丁
 小ひくさ
 新草

く○
 仁比久佐
 万十四、十九丁
 小ひぐは
 新桑
 く●
 尔比具波

万十四、三丁
 小ひなへ
 新掌
 へ○
 尔比那閉
 古下、雄畧

二フ
 二へ
 二ホ

小ふ
 地名
 小ふ○
 尔布
 万七、十五丁、十四、三丁
 小ふ
 地名、人、名、贄
 息笑
 上、ふ○

下、ふ●
 尔布夫
 万十八、一丁、十六、十五丁
 小へ
 地名、人、名、贄
 へ○
 尔閉

万九、十六丁
 尔閉
 繞日四、十丁、六、十丁、倍を用ひと
 小は
 人名
 ぼ○
 仁番

古中
 應神
 小ほひ
 物、餘
 ぼひ○
 仁保比
 万十八、八丁、尔寶比
 十、四十、三丁

小ほがり
 鳥名
 途本杼理
 古中、仲哀
 珥保
 迺利
 紀神
 尔保

騰里
 万十八、九丁、六丁
 等を用ひと
 〇法考三
 〇九七

○怒部

又カ

又ク

又サ

ぬかてい先

名人

ひ○

糠代比賣

古下敏達

ぬかぬ

地名額田

か

ぬ○

狭野方

七丁十

ぬもふか額

六丁元

ぬか糠

か○

ぬもふ

糠八丁十

ぬく貫

く○

農矩

智紀天

ぬく腕

く○●難定

奴岐奴棄

古上奴伎七丁五

ぬさ帛幣

さ○

奴佐

古中仲哀奴左六丁十三

又シ

又ス

又ツ

又テ

又ナ

又ノ

ぬ

主

ー○

農斯

六丁五元

ぬ

虹

ー●

努自

万十四十三丁

ぬまむ

盗

ま○

奴須美

古中崇神農珠ま

同紀

ぬつかさ

野司

つ○●難定

野豆可佐

万十七丁十一

努都可佐

元十丁五

ぬて

ぬまむ 盗
 ぬまむ 〇 奴須美 古中 農珠まゝ 同 紀
 ぬつかさ

野 司 野 〇 ● 難定 野豆可佐 万十七 努都可佐 五丁 ぬて

鈴 〇 奴底 古下 奴底 日 紀 ぬなかはひ 〇 神 〇

沼河比賣 古上 ぬなや 音 玉 〇 奴那登 古上 奴那儺等 紀 神 代

ぬなは 葺 〇 奴那波 古中 應神 ぬのいろひ 〇 名 〇

怒能伊吕比賣 古中 孝元

又ハ 又ヒ 又ホ 又エ 又リ

ぬはぬのいろひ 〇 名 〇 沼羽田之入 毗賣 古中 ぬ

はぬま 黒枕 詞 〇 ぬ 〇 奴婆多麻 古上 万十 〇 播波 〇

ぬひ 〇 縫 〇 白縫 〇 〇 ぬび 〇

野 〇 怒毗流 古中 應神 ぬほ 〇 牙 〇 某牙とりの 〇 法依るれを法

〇 法考三

〇 九八

べ
ぬえくさ
草 偃
く○
怒延久佐
上古
ぬりて
名木
て●

農利渥
紀崇
峻

○祢部
ネカ
ネキ

ぬがひ
願
か●
祢可
比
万九, 五
十ニ丁
可を用ひしとよみの心しう
ざふ。汝の糸ふてまゝらう。

ぬぎ
願
又
さ●
泥疑
古中
景行
祢宜
万六, 九
五丁
ぬぎぬ
名地

さ●
祢疑野
紀景
行

ネシ
ネス
ネタ
ネツ
ネト

ぬしろ
根
白
●
泥士漏
古下仁
徒紀月
祢自路
万十四,
九五丁
ぬせ
名人

さ●
祢受
紀推
古
ぬみ
根
足
ぬ●
泥陀流
古下
雄畧
ぬ

つこぐさ
草
名
つこ○
く●
根都古具佐
万十四,
九六丁
ぬせ

● 祢受 紀推古

ぬい

足根

ぬ

● 泥陀流 古下雄畧

ぬ

つこぐさ

名草

つこ

く

● 根都古具佐

万十四, 六六丁

ぬ

寤

● ぬ

祢度 万十四, 十五丁

ネノ

ネハ

ネモ

ネヤ

ネウ

ぬのあぢさはび免

名人

さは

● ちひ

● 泥能阿治佐波

毗賣 古中開化

ぬげ

這根

は

● 泥婆布

古下雄畧

ぬもころ

慇

二〇 根毛許呂

万四, 卅四丁

祢毛已呂

十四, 十三丁

根毛居侶

九, 十五丁

ほふハ言後ホて

ぬもころころ

慇

下, 二

● 祢母許呂

其呂 万卅, 四十七丁

ぬやぞ

寤屋

● ぬ

● 寤屋度

万五, 卅丁

ぬらひ

伺 ひ〇

祢良比 万千, 四十四丁

祢良波里

十四, 十九丁

○能部

ノコ

ノタ

のこりう

名地

こ○

能許乃宇良

万十五、
九丁

のこり

残

こ○

能許利

万五、
九丁

のこぶ

拭

こ●

能其比

万六、
四丁

のぬばく

宣賜の
約り

は●

乃多婆久

万六、
七丁

ノチ

ノト

ノホ

ノリ

のち

後

ち○

能知古上

万五、
九丁

のち

國名、又
地名

ち○

能

登

万十、
九丁、
十、
二、
六、
六丁

のせがは

地名、
大和

ち○

能登湍河

万三、
六、
六丁

のせりぬ

名地

ち○

能登利田

紀神
功

のせかやま

名地

やか○

能登香山

万十、
七丁

のせ

喉

ち●

能杼

万五、
七丁

が

長

ち●

能杼

万二、
七丁

のぼぬ

伊勢、
地名

ほ●

能煩野

古中

景
行
紀小寝
よるハ不
正

のぼる

登

ほ●

能煩理

古下仁
徳、
紀
崇神、
万十五

能長
 や ●
 能村 万二、
 卅三丁
 のぼぬ
 伊勢、
 地名
 ほ ●
 能煩野 古
 中

景 紀不褒を用ひ
 行 じるハ不正
 のぼる 登
 ほ ●
 能煩理 古下仁徳紀
 崇神 万十五

十六 朋褒保を用ひ
 丁 じるハ不正
 のぼりぬち 立登
 ぬ ○ ●
 難定の

ぼり陀致 紀維
 体
 のりやごや 祝詞
 せ ○ ●
 能里等其

等 万十七、五
 十一丁

○波部 ハカ

はかせ 名人
 かせ ○ 博勢ハカ 紀持
 はかぬ 地名
 かぬ ○ 博ハカ

多 古中孝元
 紀孝安
 はかま 袴又
 人名
 か ○ 婆伽摩ハカ 紀雄 博麻 統持

はかる 謀
 か ○ 波加由 古下
 允恭
 えはかり 程
 は ●

いか婆加利 万五、元
 八丁 かく婆可利 十日三
 丁 ぬまを婆可里 十四、
 四丁

○ 法福考三

○ 元

はがひ

合羽

か ●

ひ ○

羽我比

五丁 六丁 九

ハキ

ハク

ハゴ

はきよ光

掃 浄

き皆 ○

波吉伎欲米

五丁 九 五十丁

はぎは

原 萩

き ●

は ○

波疑波良

五丁 九 十五丁

はき

地名

く ○

き ●

波區藝縣 紀神 功

はくひ

能登郡名

くひ ○

波久比

四丁 七 九 十

はく

物へ繩をよか くのやうのよ

く ○

牛ふくも。もろまハ波久礼 十

六、七 梓弓つ

とり波氣

二、十 一丁

波可馬

十四、十六丁

按小矢 作多ど

はく 剥

く ○ ● 難定

播伎

紀神代 五 十 六、七 一丁

はく

ぶの伸と

は ○

るかゝ波久

古中 崇神

いそ波久 一 万

七、二 波久

ニ、十 四丁

志ぬ波久

十九、十 六丁

はぐくむ

育 上、く

下、く ○

羽具久美

四丁 十五

はこく小ぬ

神 号

く ○

丁 兀二
かゝ波久二、十
志ぬ波久十九、十
六丁
はぐとむ
育
上、く

● 下、く○ 羽具久美万十五、
四丁
はこくふぬ
号神
く○

播舉矩尔野尊紀神
代
はこぬ
名地
こ○ 波姑祢万十四、
十丁

ハサ
ハシ
ハセ

はさ
名地
さ○ 波佐能夜麻古下 幡舎能夜摩紀
同

谷
さ○ 波佐麻紀皇 婆娑摩武
烈 ぼるハ
はさま
椋

○ 波斯多色古下 仁 德紀 同
丹後國の地名。あまのそくしとともも。
さみゆき〜とて。あまのそくしとともも。

はし
間又橋
又端
○ 波之万二、
波之十四、
はしけやし

愛
しけさ皆○ 波斯祁夜斯古中 波辞枳豫辞紀 波思家

夜之万十七、
波之吉真志同 波之万二、
波之十四、
はし
著
はし
著

向第乃命ムカフオトノミコト
三丁
はし
弾
はし
波自伎万十四、
十六丁

○ 漢語考三

○ 一

波豆可之
九万八十八丁

はつせ

大和地

つせ

波都世
古下雄畧

万十三、播都制
九二丁 畧 紀雄

はつはる

初春

は

波都波流
五万六千十三丁

はつはな

初花

は

波都波奈

万十七、千一丁
十八、千八丁

婆を用ひ

ハ不
正

はつはつ

小端

は

波都波都

万四、千六丁
十四、千丁

はて

べ
名人

て

へ

巴提便

紀欽

提を用ひ
るハ不正

はてはつ

泊

てつ

波底

万十七、七丁

は

鳩

や

波斗
古下波
九茶

刀
同紀

ハナ

ハニ

ハネ

はなばち

蓮花

は

ち

波奈婆知須

古下雄畧

はな

ちる

花散

ち

波奈知流

万五、千五丁、千、四十
六丁、十四、十八丁

治を用ひ
るハ不正

はなご免

花隠

こ

波奈其米

万十七、千九丁

はなぐは

花

ちる
散花
ち○
波奈知流
万五、十五丁、六、四十
六丁、十四、十八丁。
治も用ひるハ不心。

はなご免
花隠
こ●
波奈其米
万十七、
九丁
はなぐはし
花、
称

美、
詞
く●
波奈具波辞
紀允
はなびーびー
鼻をひ
ひ

皆●
鼻毗之毗之
万五、
九丁
はなち
放
ち○
波奈知
足

石
哥
神代紀小豆を用
ひるハ不心。
はみやをびこ
神号。
人名。
を○
ひ●

波迹夜須毗古
古上、
中孝元。
はみやをび免
神号又
人名
を○
ひ

●
波迹夜須毗賣
古上、
中孝元。
はほしな
信濃、
郡名
ー○
波尔

思奈
万十四、
十一丁
はふふざか
地名
ふ○
さ●
波迹布那迦

古下
履中
はぬを
花名
を●
波泥孺
紀天
波祢受
万八、
六丁、
九

ハ、

はくさ
名國
はさ○
伯伎
上古
はくさ
蒂
はさ○
ふま

○法富考三

○三

婆波伎 万九, 五
十八丁 は、そば 柞
葉 上, は、そ、
下, は、● 波波

蘇婆 万九, 九
六丁 は、か 朱
櫻 はか○ 波波迦 上古 は、母

は○ 波波 万九, 九
九丁 波播 十四, 十
十丁 は、
名矢, は○ 天之波

波矢 上古 は、
は、か○ 波伐加利 万三, 七
七丁 波婆

可流 万七, 七
七丁 書紀小波を用ひと
るハ、
ハ、
ハ、

ハヒ
ハフ
ハフ

はひぎ 神
号 ひ○ さ● 波比岐, 神 上古 波比祇, 神 神
名 は

ひつぎ 越中,
地名 ひつぎ皆○ 波比都奇 万七, 四
十九丁 はびる

くまか 葉廣
隱櫃 ひ● か○ 波毗呂久麻加斯 古下
雄畧 は

ふる 物切,
分ニ ふ○ 波布理 古中
崇神 二ハ、
必、
はふる

捨と
通、
ハ
波夫利 古下
九 万紫十四小布を用ひとるハ、
死人を葬をもハブルとほるべし。

ふる 物切 分ッニ
 波布理 古中 崇神
 ふ〇 波布理 古中 崇神
 二ハふふと通ひて
 必ス後言あり
 はふる

捨ト 通ッ 詞
 ふ ● 波支利 古下 危 万紫十四小布を用ひしハ不正
 死人と葬をもハブルとほるべし

はまつばら 濱ハ生ル 蔓草ニ
 上、つ〇 下、つ ● 波麻都豆良 十 万

四、五 丁
 はまごよご 濱 浄
 波麻藝欲伎 万十五、十四丁
 はま

ひ 濱 邊
 ひへ ● 波麻備 万五、卅一丁、十五、十二丁、十七、卅八丁
 波麻倍 卅、九丁

ハモ ハ ハヤ ハ工

某はも 詞 歎息
 は〇 とひく 慈波母 古中 景行 子とふとり 波母

万十四、九丁
 えは 者
 は〇 神のこころ 波 古 破 仁 紀

徳 多れふれる 波 万十七、十四丁
 あひとて 波 十四、九丁
 婆を用ひる 云

は 者
 は ● 日がひけいを 婆 古 人 小ありせ 婆 古中 景行 人

ふありせ 磨 紀 万三、九丁
 ろうりせ 伐 万三、九丁
 申ふされ 婆 十五、十丁
 播

○ 法考三

○ 卅四

薄。ハ。あ。ま。り。用。ひ。さ。る。ハ。正。し。く。
む。く。さ。ま。の。を。皆。ほ。る。何。あ。り。

はやまち 名人
ち○ 波椰撃

智紀仁
はやぶさ 鳥名又人名
ふ● さ○ 波夜夫佐和氣

古下 波椰步佐和氣 紀
はやまひなせ 豊後地名
や○ 速吸

名門 紀神 速吸之門 神武
門ハかるみあしぬどとの上ふ。
の辞あれをほてくまべし。
はやく

早喰 く○ 波野俱壁 紀雄
ちの記み具を用
ひとふハ不正。
某はや 息歎

は○ あづよ波夜 古中 景行 ぬくみ 儲夜 紀雄
うぬえ巴 椰

恭允 へえひえ 名人
ひ○ 波延比賣 古下 継体

ハラ ハリ ハル ハロ

はくばい 畝 甫
は● 腹婆布 万十九、四 十一丁
はらふ 袂 ぶ○

波羅閉 紀神 代
はくが 兄 弟
か● 波良何良 続日 宣命 宇

うがくとてし へるべし
はのけ 榛原
は○ 波里波良 万十四、十三 丁、十六丁

波羅閉紀神

波羅閉兄弟

波良何良續日宣命

うがうとて
しえるべし

はろけ
原

は○波里波良万十四、十三
丁十六丁

はろふて

物張立

ふ○

は○波理隆古下
允恭

はろぶく

ろ針袋

ふ○

波利夫久路万十八、
丁五

はろひ

は○日春

ひ○波

流比紀武烈
継体万五、卷

波流卑五、十
八丁

はろはな春花

は○波流波

奈万十七、
丁四

はろさる春雨

は○波流佐米万十八、
丁八

はろ

へ春方

へ○

こハ幣の糸小見ゆ。元々春某と
りよ子皆は海にほるべしと云ふ。

はろばる

遙は

波漏婆漏万五、
丁三

こハ波を用ひと云ふ処もあらず
あれど、終るほる小従ひつ。

○比部

ヒカ

ひかはひ神

号

ひ○

日河比賣古上

ひかげ蘿

か○

○法窟考三

○五

け ● 比 何 疑 紀 神
代
ひ かり 先
か ○ 比 可 利 万 五、
賀

用ひよる
ハ石正。
ひ かの よ さ か
名 地
か さ ○ 避 箇 能 烏 嗟 箇
徳 紀 仁

ひ が け る
日のかげりありぬ。ヒカゲルとあるべきを、かくあるハ、ほほむ
下上ふあをさへる。古へのき、後ありと、作ハいそぬ。

か ● け ○ ゆ ら ひ 比 賀 氣 流 古 下
雄 畧

ヒキ
ヒク
ヒケ

ひ き て の や ま
名 地
て ●
引 出 山 ヒキデノヤマ 万 二、四
十 丁
ひ ち ぎ
肱 師 日、
木 二、
さ

● 知 疑 延 曆 儀
式 帳
比 宜 和 名
抄
二ハ、ふ、か、る、書、を、け
ぬ、を、姑、く、し、り、ぬ
某 び さ び

く 引
ひ ● ま よ 彈 枳 紀 仲
衰
ま よ 毘 伎 万 五、
九 丁
ま よ 婢 吉 十 四、
八

丁 々 々 妣 伎 十八、十二丁
う 々 々 妣 吉 十四、
十 丁
さ 々 々 妣 吉 日 也 婢

伎 七 丁 七、五、十
ま 々 々 毘 伎 五、九
ま 々 々 妣 伎 十 七、十
比 伎 婢 企 綾 日 宣 命 才

そ 婢 久 七 丁 七、四、十
あ つ 々 々 妣 久 十 四、
三 丁
あ 々 々 婢 伎 十 九、十
あ 々 々 妣 久

美命古中
開化

ひこゑくをみちのう

名人
ぬくをち皆○

比古多須美知能宇斯王古中
開化

ひこおと

名人
を○比

古意須王古中
開化

ひこくふく

名人
ふ○古日子國夫玖命

古中
崇神

ひこぢ
婦より
夫を云

ち○古日子遲上比古尼紀神

ひ

こほし

星名
ほ○比古保思古中
十八丁

ひこづひ

引つ

●比許豆良比古上
三十九丁

ヒサ

ヒシ

ヒス

ひさかゑ

天の
祐河
か○比佐迦多

古中景行
比佐箇多紀仁

ひさし

久
さ○比佐斯古中
十四丁

ひざ
膝さ○比射

万十四
十九丁

ひしがら
菱

か○

比辞餓羅紀應

ひ

しらのみや

景行天皇
の大宮処

○比志呂乃美夜古下
雄畧

ひ

万十四、
十九丁

ひしがら
菱 柯

か ●

比辞餓羅
紀應 神

ひ

しらのみや

景行天皇
の大宮処

〓

比志呂乃美夜

古下
雄畧

ひ

物音

〓

比師
五十三、
十四丁

ひまのみや

大國主、神の御
靈の鎮坐宮ニ

天日隅宮

アメノヒスノミヤ
天日隅宮

紀神

天日栖宮

アメノヒスノミヤ
出守所
土記

ヒタ

ヒチ

ヒツ

ひむち

名國

ひむち〓

比多知

万九、
六丁

ひむかひ

名地

ひ〓

か ●

比多賀多

万十四、
十四丁

ひむり

一向
照ニ

ひて〓

比

多底里

万十八、
十一丁

太陀を用ひしるハ正。ひり
す。ひりものどは法書ニ

ひむ

名國

ひ ●

斐太人

万七、
五丁

ひちし

名地

ち〓

比智嶋

紀天
智

ひ

おさのたひ

名地

ちひ

〓

〓

比治奇乃奈太

万十七、
七丁

ひ

ひつ櫃

つ〓

ちぬ櫃

万一、
八丁

ひづち

物ぬる

つ ●

ち

○ 法考三

○ 七

○ 比豆知 万十七、
比七丁、
都を用ひたるハ正ノ一ツノミヤ。
約免テハ比達ノミヤ。

ヒテ
ヒト

ひでる
照日
て ● 比傳流 古下 雄畧
万葉ニテモハ武日ノ流ト
ありモハ正ニテクハモトク。

ひやごのかみ
長とる
人モ云
● 比登誤廼伽弥 紀神
武

く
他
く ○ 比等久尔 万十五、
比四丁
ひやごや
言人
こ ●

比登其等 万十四、
比二丁、十八丁。
ひやごり
未考
て ● 比登涅羅

賦紀雄
一
や ○ 比登理 古下 仁徳 比等理 万十四、
比二丁

紀小毗。優利とあ
るハ正ノ一ツノミヤ。
ひやごつ
一
やつ ○ 比登都 上古 紀小毗。
菩徒と

あるハ
ころし。
ひやご急
一
聲
こ ○ 比等已惠 万十九、
比五丁

ヒナ
ヒニ
ヒネ
ヒノ

ひなごりぬかみびちをいこちか
号神
ひ ● ぬちこち四

ヒナ
ヒニ
ヒネ
ヒノ

ひなてりぬかぬびちをいこちか

号神
ひ ● ぬちこち四

○ 日名照額田毗道男伊許知迹神上古

ひな〜〜びを
号神

一 ○ ひ ● 比那良志毗賣上古

ひながひを
名人 ひ ○

肥長比賣 古中 壘仁

ひなを〜

一 ○ 日雙斯皇子 万一、九二丁

ひなくもり

日の曇

く ○ 比奈久母理

万九、卅 十四、十一 六丁 丁小比能

具礼よりすひのふと云くハハのてふをハアハを。くもをほくもさるふ具を用ひとふハを奇を。

ひ小ひ小

日二日二 二 二 二

○ 比尔比尔 万十七、卅丁 九、九三丁

ひぬもを

終日 比祢毛須

万十八、七丁

ひのやをばやを

号神 号 〇 ● は ○ 火之夜藝云速

男神 上古

ヒハ
ヒ、

○ 後考三

〇 卅八

か 東
か
こ
そ
比賣基曾社 古中
志奈里とある
も正しうか。
こハカキキハナリル。日向の至ふ所へては。べ。ヒン
ガシと見るハキキナリ。和名抄津圍の郡名。比牟我

比賣語曾社 紀垂
比賣基曾社 古中
應神

ひもろさ 籬神
難定 比葦呂岐 紀崇
比賣陀 古中
南化 日下履中。

や 比毛等伎 五九、五
紀不騰を用ひとる
ハ正しうか。

ヒラ
ヒル
ヒロ

ひぶ 貝名。又
人名

比羅智駄 紀継
駄。用ひと
ハ不正。

比呂比賣命 古下
欽明

比呂比賣命 古下
欽明

比羅傳 比羅傳
五十六、十八丁

比羅傳 比羅傳
五十六、十八丁

廣辨 五八、五
十五丁
比盧岐

○ 比羅考三

九

頭 紀雄

ひろせ

瀬 廣 せ ○

此日 綾栖 皇 極

ひろけ

橋 廣

は ○ 比呂波之

此丁 万十四

ひろふ 拾

ふ ○

比呂波年 十 万

一四丁 比利波年 十八丁

○ 布部

フキ

フク

フケ

ふき 名人

き ○ 賦枳 紀天

ふく 揮

く ○ 布伎 上古布履

代 紀神

ふく

革子 堀取串

く ○

布久思 七丁

ふくれ

物

くらゐ 吹負

く ○ 布久礼 万十六丁

ふけ

人名 又 地名

けひ ○

吹負 紀天 吹飯 万十二丁

フサ

フシ

フス

フセ

ふさふ

良

さふ ○

布佐波受

上古

万葉小倍玉用 正

ふさ

フサ

フシ

フス

フセ

ふさふ

良
さふ○
布佐波受
上古
万葉小倍玉用
ひるこハ不正

ふさく

多さく
多く折
さふ○
布佐多牟里
万十七丁
ふさく

ふせく

塞
く○
此は信守の事
せ、終小正ゆ
ふ
柴
○
布斯
上古府

壘
紀神

ふ
地名
伏
万七丁
ふ
み
地名
伏

見
万九丁

ふ
駿河
地名
布士
万三丁
不盡布時
十四丁

仕
を用ひ
ハ不正

ふ
伏
布勢
万十七丁
ふ
多

布須左

万十四丁
布勢
姓又越
中地名
布勢
古中

應神
万十
八、六丁

富制
臣紀
孝

フタ
フチ

ふさちひ先

人名
ち
ふひ○
布多遲比賣
古中
景行
ふさ

○ 法府考三

○ 四十

ふつぬし
号神
つ○
賦都主, 神紀神
布都怒志, 命延式
小

つのみぬま
鈕
つぬ○
赴屠能溺哆磨
代紀神
ふつま
馬大

つ○
布都麻
万十八, 十七丁
ふつかぬみ
二日
ぬ●
布都

可太未
万十七, 四十六丁
ふてみし
号神
て○
布帝耳, 神古
ふせ

ふり
大知
せぬ○
布刀斯理
古上
ふとふ言
ふせまわが

ひを
人名
かひ○
賦登麻和訶比賣
古中
ふせひを
人名

せひ○
布斗比賣
古下
欽明

フナ
フヌ

ふなせ
号神
せ○
布那斗能加微
代紀神
ふなびせ
人船
ひ

●
布奈妣等
万十四, 三丁, 十五, 十八丁
ふなせり
每
せ●
船騰毛

万十九, 廿六丁
ふなふな
船棚
ぬ●
敷奈太那
万十七, 廿丁
ふなま

○ 陸田考三

○ 四十一

戸ノ
競

● 布奈藝云保布 万七、四十九丁

ふなりのへ
船

へ○

布奈能開

万五、一丁

倍を用ひしと
るハ不正

ふなはし

船橋

は○●

難定

布奈波之

万十四、十四丁

ふる云とつうのハ波丸ども某と。とら
み、大とつう、保まねを、一処あまのいまあま

ふぬづぬ

神号

つ●

布怒豆怒、神上古

フハ

フヒ

フ、

フホ

ふはつちりくぬをぬ

神号

はくを三、た○

ち●

布波能

母遅久奴須奴、神上古

ふは

美濃、郡名

は○

不破

万三、七丁

ふひを

人名又
姓

ひ○

不比等

紀持統
続日一

ふり

能登、郡名

ふー○ 鳳至、郡

万十七、五十八丁、結日八

不布志 和名抄

ふしまる

倉

ふ○ 布敷麻留

万十四、一丁、四十三丁

ふほごもり

倉隠

ほ○

こ● 府保語茂利 紀應神

ふ ○ 布敷麻留 万十四、廿五丁
元、四十三丁

ふほごもり 舎 ぼ ○

こ ● 府保語茂利紀應神

フミ
フモ
フユ
フラ
フル
フレ

ふみやぼり 踏通 ● 布美等保利 万五、十丁 林麓

雪 ○ 踏本 フモト 万九、九一丁 ● 布毛太志 万十六、廿一丁

ふゆさ 冬木 ○ 布由紀 古中 應神 絹 ● ぼ ●

布良婆閉 古下 雄畧 名人 ● 布流玖麻 古中 仲良

草古 く ○ 布流久左 万十四、十九丁 被振 ●

○ 布礼多都 古下 仁德 紀應神

○ 幣部
へキ
へク
へソ

○ 漢語考三

へさ 姓
さ○ 幣岐君 古中 應神
云へべきべくべし 可へ

● く倍枳紀允 志古下 敬を用ひと 八不正
あく倍伎 万十八 七丁 名和 郡名
さぬ倍久 月十 六丁 たりぬ倍
幣具理 古中 景行 幣

志 古下 敬を用ひと 八不正
へさり 郡名 大和 名和
● 幣具理 古中 景行 幣

遇 利 同紀
へさ 経麻
そ○ 閉蘇 古中 崇神

へ夕
へ口
へ

へさ 海邊
ふ○ 邊多 万十二 九丁
へさて 隔
ふ● 敬太互

万十八 多を用ひと 八不正
へろべし 地名
へ● 幣賂弁嶋 紀

明 果へ 方
へ○ もと幣すゑ幣 古中 應神 紀仁徳
とと 隆すゑ

隆 紀 継 体
おと幣やまと 幣 古下 徳 宗
隆 紀 頭 宗
まら 隆 ありと

隆 あり 隆 あり 杯 代 紀 神
之 多 敬 万五 四 十丁
みや 敬 万十八 十 三丁
みや 二

敬 同 元
みや 二 幣 十七 九丁
もり 幣 同 四十 六丁
もり 敬 十八 七丁
よる

万九、五
十三丁
倍を用ひしるハ

○富部

ホア

ホカ

ホキ

ほあかり

号神

か○

火明命 ホアカリノミコト

古上紀
神代

ほか

外

か○

保

加 万十七,
卅一丁

ほきほく

祝

さく○

とよ保枳かむ保枳神紀

功保伎

万十九,
四十三丁

保久

十八,
卅七丁

後世とふきとりあはしとるの持しとる云ふも一はさるるべし。かざりぬるもいとほるハ非也。

本流きあるるも
まこととるべし。

ホク

ホコ

ホサ

ホス

ホソ

ほく

神庫

く○

保玖羅

紀垂

保久良神社

神名帳

ほこ

誇

こ○

保許里

万十七,
四十五丁

ほこゆけ

牙を用、
り様ニ

こけ○

ホコ
古中

見

記

ほろ 庫神 く ○ 保玖羅 紀垂 保久良神社 帳神名 ほこ

誇 こ ○ 保許里 万十七、四十五丁 ぼこゆけ 弓を用、 二け ○

矛由氣 古中神武 ぼさく 祝 さ ○ かむ 保佐枳保佐枳 神紀

代 ぼをせり 号神 をせ ○ 火須勢理命 古褒能須素里 神紀

代 昨曰能ハ後人の加へ ぼを 干 を ○ 保佐流 万十四、三丁

ぼそき 椒蔓 そき ○ 褒曾紀 紀皇 極

ホタ ホツ ホト

ぼふり 罇 秀 ぶ ● 本隠理 古下 雄畧 ぼつえ 枝 秀 つ ○ 本都

延 古中應神 万十九、四十八丁 保菟曳 紀應 神 ぼつゑか 鷹 秀 つゑ ○ 保

追多加 万十七、四十六丁 ぼつよく 小 秀 真 つく ○ 袍 畚 芥 白

你 紀神 畚を用ひと るハ石正 ぼつもり 舎 つ ○ 本都毛理 古中 應神

○ 法福考三

○ 四十四

ほつてのうへ

未考

つ〇

保都手乃宇良敝

五、十

丁五

ほや

処陰

や〇

冨登

上古

ほや

ほや

程

や〇

保刀

万十四、十丁

ほるハ

ほや

殆

や皆〇〇保等

保登

万十五、七丁

ほるハ

ほや

郭公

や〇

●

保等登藝須

万葉

伎を用ひる

ほや

人名

や●冨杼

統紀持

ほやろ

雪のふり

や●

保杼呂

万八、五十四

ホヒ

ホヘ

ホ

ほひ

号神

ひ〇

天菩比命

上古

ほびこ

るこ

ひ●こ〇

保妣許里

万十八、三丁

ほべ

燂火

へ●襃

倍紀神

穗瓮君瓮此云倍

ほいでみ

号神

て●

火火出

見尊代紀神

ほかがいは

厚朴

ほ〇

か●

保寶我之波

十

倍紀神 總管君 此云倍仁

ほいでみ

火火出

見尊紀神

ほがいは

厚朴

ほ○か●

保寶我之波

九、元
五、丁

ほいで

人名

て●

法提即媛

紀舒

ホム

ホウ

ホロ

ほむ

應神天皇

ふ●

品陀

和氣

古中

品太

天皇

古下

多子

とるハ
不正

ほむわけ

人名

ちつ○

本年智和氣品都和氣

古中

凡て其むちとりふ名。皆ちよほるゆふ。智都も用ひとるハ。垂仁 凡て通アとともへる。さうりう。さうりう。さうりう。さうりう。

ほむら

人名又地名

ち●

伊勢之品遲君吉備品遲君

古中

品遲部

仁多臣品治

紀持

ほげ

師曰。物の中の空虚

ほ

○ 富良富良 上古

ほるぶ

滅

ふ●

保呂煩散年

万十五

○麻部

マカ

まかね

真金

か○

麻可祢

万十四, 卍三丁

まかひ

真悲

か○

麻可奈思美

万十四, 四丁, 六丁, 卍丁, 卍四丁

まかひ

真鴨

か○

麻可母

万十

四, 卍, 八丁

まかこや

名矢

かこ○

麻可胡也

万卍, 五丁

まかひ

ひ擬

か○

令占麻迦那波而

上古

まかひ

罷

か○

末

可利

万十八, 卍一丁

まがる

曲

か○

麻我理

万十九, 卍二丁

麻宜

まがつひ

神号

か○

つひ○

福津日神

訓訓禍云, 摩賀

上古麻我都比

延喜式

津と日ハかろふハあハぬと。凡て助詞のトハフ。多岐都比賣字

沙都比古字沙都比賣御井都比賣

まかひ

横井氏曰目赫玉ニカ

●

勾璉 上古曲玉 紀神代

まがひ

か○

麻我比

万十七, 卍七丁 麻我不 五, 十, 八丁 可を用ひしる

● 勾璉
上古曲玉
代紀神
 まがひ
 乱
 か ● 麻我比

万十七、麻我不
五、十
八、丁
可を用ひしる
ハ正しうしる

マキ

まきむく
大和、地名
 まきく
 麻岐牟久
古下
 纏白
月中
景行
 まき

被
 まき ○ 磨紀
代紀神
 まきさく
檜の枕
 まき ○ 芥紀
佐俱

紀継
 真木佐苦
万一、丁
 まき
枕小為
又卷
 まき ○ 魔柯
純
紀継

麻吉
万十七、丁
 まき
求
 まき ○ ● 難定
 つま麻岐
古
 摩加牟

月中
 つま磨祁
紀継
代神
 小磨儀
 小麻藝
万九、丁
 馬伎
月中

かく漢留のわらふと交へ
 用ひしるれを定めしる

まきさる
 紛
 まき ○ ● 難定
 麻伎良

波之
万十四、丁

マク

マケ

マコ

○ 法考三

○ 四十六

まろが

地名

く○

か●

麻久良我

万十四, 十八丁

まく

蒔

く○ 末枳

万十八, 十九丁

まくひ

真枳

く○

麻久比

古下 六蒸

ま

まろがむ

枕小為, と云

か○

摩久良可武

万九, 十一丁, 十九, 十一丁

ま

くらふち

枕大

ふ○

麻久良多知

万九, 八丁

まろがむ

未考

魔俱囉喞

紀継

まく

負

く○

磨概

紀神

代云まく

マシと云

く○

なかさ麻久

上古 ありけ末

久ハ 万十八, 十六丁

あがこひ萬久ハ

二十五, 二丁

ねお

まぐた

蟻

く○ さ○ ● 難定

摩遇那岐

紀允 蒸

まぐは

真

く

● 麻具波思

万十四, 十二丁, 十四丁

集グハシと云, 云多くは海

まけ

為罷の 約り

け○ 麻氣

万十七, 九丁

末伎

十八, 九丁

まこ

誠

こ○

麻

● 麻具波思 万十四, 十二
 T. 十四 T. 十二
 集グハシと云フ
 云多くほつ海ニ
 まけき 為四能の
 約りニ

け ○ 麻氣 万十七, 九
 T. 十七, 九 T. 十八, 九
 末伎 九 T. 十八, 九
 まこや 誠
 こ ○ 麻

許登 万十四, 九
 T. 十四, 九

マサ

まささく 真 幸
 さ ○ 麻佐吉久 万十七, 九
 T. 十七, 九
 まさか 正
 さか

○ 麻左可 万十四, 十三
 T. 十四, 十三
 真坂 十二, 十
 T. 十二, 十
 まさかやまつみ 神
 さ

○ 正鹿山津見, 神 上 古
 まさ姓
 さ ○ 麻佐首 古 中
 景行
 ま

さて 正
 さ ○ て ○ ● 難定 麻左氏 万十四, 七
 T. 十四, 七
 麻左低 万十四, 八
 T. 十四, 八

まささづ 真折 葛
 さ ○ つ ● 麻左棄逗囉 紀 継
 体

まさやか 真清 明
 さ ○ 麻佐夜可 万十四, 十一
 T. 十四, 十一
 ままさむ 坐

さ ○ さ麻佐武 万十五, 十八, 八
 T. 十五, 十八, 八
 後射まかける人もあられあがら

○ 法考三

○ 四十七

マシ

マス

マソ

まゑる

白真

ま

麻之路

万十九, 十二丁

まゝ

辞

○

ぬぬて麻斯也

古下雄畧

まぬきせ摩之

行紀景

みせ麻思

万十九, 十五丁

申の麻之

同四丁

ま

麻之

五, 七丁

ま

ま

交

○

末自列留

万五, 十九丁

ま

名人

ま

摩須郎女

中古

化陶

ま

士勇

ま

麻須良多祁平

万九, 十五丁

ま

む, 伸り

ま

ま

麻須

万十七, 七丁

ま

姓

ま

麻蘇

万四, 四十六丁

ま

真

ま

麻素

万十四, 十二丁

麻蘇

ま

ま

真澄

ま

末蘇可我弥

万十九, 七丁

ま

ま

真赤

ま

麻曾保

万十四, 三丁

マタ

マチ

そぼ 真赤
土
そぼ ○ 麻曾保 五十四
卅三丁

一タ 一チ

まふを 名人
ふ ○ 麻多鳥麻拖能鳥 紀垂
まふま 真
玉 ぬ

○ 麻多麻 古下 允恭
まふ 又
ふ ○ 麻多 八丁 紀二階
を用ひ

とるハ 不正
まふま 全
ふ ○ 麻多 古中 景行 麻多久 万十五
卅三丁

まぶぶもま 斑 裏
ふふ ● 萬太良夫須麻 四丁
ま

ちやふ 待問
や ○ 麻知刀敷 五十七
九一丁
まちかて 待難
か ○

● 難定 麻知迦豆 五五
八丁 末知我 五
十一丁 十
某カテ
とらふ

言多くは言ふ所
字も用ひふまき
バ決るる

一ツ 一テ 一ト

まつぢ 松浦
道 づ ○ ち ● 麻都良遲 五五
三丁 卅
まつ

○ 法考三

四十八

さよひ光 名人
ひ○ 麻通良佐用嬪面 万五、
四丁 七
まつぼの

うろ 名地
つ○ 松帆浦 ニッホウウラ 万六、
六丁 十
まつぶえ 越中、
地名 ぬ●

麻都太要 万十七、
六丁 七
まつちやま 名地
つち○ 亦打山 ニッヂヤマ 万十、
二、十

八丁、
五丁、
つがへり 松臺
まつばら 松原
つ○ は● 磨菟磨邏 紀神
功 ま

奉 ぬ● 麻都里太須 万十五、
六丁 五
まつろふ 従
つふ○

磨都羅苻 紀雄 麻都呂布 万十八、
一丁 八
まつ待 つ○ 麻都古
中

神末菟 紀 万九、
九丁 四
まつ先 麻豆 万五、
十五

武 用ひとふハ不正
まつ先 麻豆 万五、
十五

提麻埜麻泥麻低萬代 万葉小
多し
かくはほのかを交へ用ひ
くれを定免し

云しまて 迄 て○● 難定 摩氏 古麻氏 麻天麻

少ぬひ光 名人
まひ○ 圓野比賣 古中 大和の地名のタカ
壘仁 マトまふ葉小高圓

提麻埜麻泥麻低萬代 万葉小
 かくはほのかを交へ用ひ
 ま

まぬひ免 名人
 まひ○ 圓野比賣 古中
壘仁 大和の地名のタカ
マトキ 万葉小高圓

まやほ 真遠
 ま○ 麻等保久 万十四 十
七丁 七丁 麻登

保久 同止 八丁

マナ
 マハ
 マヒ

まなばら 鳥名
 は● 麻那婆志良 古下
雄畧
 まなかい 眼

か○ 麻奈迦比 万五 八丁
 まながり 拱 か● 麻那賀理 上古

まなこち 小砂道
 こ○ ち● 麻奈胡 万十四
二十コ 七 愛子地 七

まなこ 愛子
 こ○● 難知
万系十三 七丁 小 真名子 とある
名ハ乃 不通 ひく 真之子 のここの

まはる 回
 は○ 多麻波理 万七 七丁
 まい 賂賂

まひ○ 末比 万五 四
 まい 真日 まひ○ 麻肥 古中
應神 まい

○法考三
 ○四十九

舞

ひ○ 麻比古中
仲哀

マヘ

マム

マヨ

まへつぎ

戸前

つや○

麻幣都斗古中
崇神

まへつさみ

天皇の大

前不仕奉
臣等と云

ま○

魔弊菟春弥紀景
行

まむち

名人

ち○

満智宿祢紀履
中

まよがら

眉と作

か●

麻用賀岐

古中
應神

まよひ

弊

ひ○

麻欲比

万十四
十九丁

マリ

マレ

マロ

マキ

マウ

マキ

まのさふ

名人

さふ○

麻利耆拖

紀孝
徳

まのせ

名人

せ○

摩理勢紀推
古

まのふ

地名

ふ○

麻里布比

百十五
十四丁

まね

名人

○

摩礼志紀舒
明

まろこ

名人

こ○

麻

呂古王

古下
欽明

まぬで

参

て●

麻為泥

万十八
元七丁

豆
を
用
ひ
と
る

まね

名人

一〇

摩礼志明紀舒

まろ

名人

二〇

麻

呂古王古下 欽明

まぬで参

て ● 麻為泥五十八丁

三。まを
ひとる

ハ不
まろく

儲く ○ 麻宇氣受五十八丁

まをま
白

○ 麻表須古下 仁德 葦烏輪網 麻表志一丁

まをま
小真

菰 ● 麻半其母五十四丁

○ 美部
三ア
三ウ
三カ

みあか
御在所
か ○ 御在香五十二丁 御阿良可延喜式 み

うささ
地名
さ ○ 御宇良佐伎五十四丁 みかとのやま

地名
か ○ 美可母乃夜麻五十四丁 みかぬ 若狭地名 ぬ ○

三方之海ミカタノウミ
六丁 七丁 十丁
みかく
見隠
か ○ 見可久思五十四丁

○ 陸奥考三

○ 五十

みかたほ

潮巖

かた

源箇始報

紀仁

みかた

朝廷

● 美可度

万十五丁

箒を用ひて

みかた

見欲

●

ほ○ 美賀本斯

古下

源餓朋辞

見我保之

万葉

アリ

かまほるべし

三キ

三ク

三ケ

みき

御酒

き

源枳

紀崇

美伎

万十九丁

みき

御倉

くふ

御倉多那

みく

真櫛

く○ け

美久之宜

万十九丁

今の俗に首をみど。しとひて。くを留るハ不正。是

ニ一巻ハフクシメ美夫。君志とほまは

みぐ

水

● 水具

麻

みけ

筑紫

け

弥概

弥開

みけ

御衣

け

美祁斯

古美家思

万十四丁

みけつく

朝廷へ

麻 万十一丁四

みけ 筑紫地名

け ○ 弥概 弥開 紀景 行

みけ

御 け ○ 美祁斯 上古美家思 万十四丁

みけつく 朝廷へ御執事

献る團 けつく皆 ○ 御食都國 万十三丁五丁 六丁九丁 けつくハ

あ〜ぬど。みえ〜とりあ言も。某團 けつくも。ほ。ほ。ほ。をす〜つ。

三コ

みこ 相模地名 け ○ 美胡之 万十四丁 六丁 御心 け ○

弥許々呂 万十五丁 十三丁 ぼるハ 御琴 け ○ 美巨騰

万五丁 騰を用ひ〜 け ○ 神此美許等

い色の美許等つま此美許登上古美攀等 紀神代 ち〜此美許等

れ〜此美已等 万十九丁 十四丁 務あ〜〜あめ〜〜〜〜〜。後世 け ○

こやふされは 命在者〜 け ○ 美許等尔作例波 万九丁 二丁

○ 信濃考三

○ 五十一

三サ
三シ
三ス
三ソ

みさか 真坂
さ○ 美佐可
万九, 四
みささ 真崎
さ○ 美

佐祁 紀継
みさご 鳥名
さ○ こ● 三佐吳
万十二, 十六
丁, 四十丁

みぶか 短
● 美自可伎
万十五, 三丁
みまると 御統

花○ 美須麻流珠
古上. 紀
神代
みそ 真虛
空
そ○ 弥蘇羅

古紀推
みとち 十三
ち○ 弥蘇知
石哥

三夕
三子

みふふ 真谷
ふ○ 美多尔
古上. 紀
神代
みふま 真玉
ふ○ 美

多麻 万五, 十
二丁
みふれ 乱
ふ● 美陀礼
古下
美太礼
万十, 四, 五

丁 多を用ひ
るハ石正
みちのく 陸奥
ち○ 美知能久
万十四, 十五丁

みちゆさぶり
道行
ふ●
道去夫利
万十一, 丁
みちの

丁 多を用ひる
 多を用ひる
 みるハ不正
 みちのく
 陸奥
 ち○
 美知能久
 万十四
 十五丁

みちゆきぶみ
 道行
 ふ○
 道去夫利
 万十一
 二十丁
 みちの

べ道
 へ○
 美知乃倍
 万九
 三丁
 みちゆき
 道問
 ち○
 美

知斗閉婆
 古下
 履中
 紀二度を用ひ
 みちはーがほく
 道間
 遠

知路波之騰保久
 三丁
 万十七
 三丁
 みち
 名獸
 ち○
 美智
 上古美

知代紀神

三ツ

みつはの光
 神号
 つは○
 弥都波能賣神
 上古
 弥菟破迺迷
 神紀

武
 みつみつ
 久米
 枕詞
 つ皆○
 美都美都斯
 古中神
 武紀
 日

ハ誤
 あり
 みつ
 満
 つ○
 三都
 万丁
 みつ
 中の
 枕詞
 つ○

く
 美都具理
 古中
 應神
 弥菟愚利
 日紀
 みつれ
 モツル、と
 云ふ近

○ 佐保考三

○ 五十二

つ ○ 三ミ礼レ 万十ノ一丁
四ノ四十九丁
みづば 水上の泡
つ ○ ぼ ●

美都煩 万九、五
十二丁
みづま 貢
き ○ ● 難定 美都奇 万九、十
五丁

奇ハほきまぬども一
処ふるハ金えうと一
みづまき 神号
つ ● き ○ ● 難

定 弥豆麻岐、神上 古
みづほのいほゆりひ光 名人
ひ ○

水穂、五百依比賣 古中
開化
みづゆりひ光 名人
ひ ○ 水依比

賣 古中
開化
みづやめ 水鳥
や ○ 美豆等利 万九、十
丁 水のつふ都
を用ひと

不正ハ
みづくへごもり 未考
く ○ こ ● 源逗矩陞御暮

梨 紀武
烈
みづく 水着
つ ● 美豆久 万九、十
丁 都を用ひとる
ハ心一うしず

みづもほるゆまり
みづや 水故
か ○ 水可良 万三、十
六丁

みづか 自
つ ● か ○ かる書ハるうれどしてづ
うづつもほるるれをほる

るべしんづうしあの
づうしんづうしあの
書記か
みづ 鬘
つ ● 美豆良 古
上都

みづか

自

つ ● か ○

かろ書ハるくれどしてづ
うらつもほきるれをほ

るべしんづうしあの
づうも此格まり

みづ

鬘

つ ● 美豆良 上古 都

用ひる
ハ不正

みづ

書紀か
瑞と出

つ ●

美豆 古中垂仁 万 弥圖 神紀

代
みづ

瑞

つ ● く ○

みづ

瑞

つ ● か

○ 此ニ桑ハかろ書ハるくれどもほきの二つづく
ほるくれをかろしすかくあぶさるめり

三テ

三ト

三ナ

みてづ

御手

つ ●

美豆豆可良

万五、十 三丁

みぞのよ

くはひ

合婚

く ●

は ○

美斗能麻具波比

上古

みぞのこ

緑子

や ●

こ ○

難知

美騰里兒

万十八、 木二丁

みやへ

地名

へ ● 弥那倍 紀仲 哀

みやそこ

水底

そ ○

美奈曾己

紀仁 徳万

七、五十 丁

みや

水門

や ○

弥攤斗

紀武 烈

美奈力

万十四、 十八丁

○ 法皇考三

○ 五十三

度^〇を用ひと
るハ不正
枕魚
詞女
そく〇美那曾曾久
下古

雄畧紀
是^〇を^〇そ^〇へ^〇て^〇身^〇游^〇の^〇さ^〇を
武烈
みなづら^〇み
水氣
立^〇

〇
ひ〇
游儼蟻羅毗^〇
明紀
音
毗^〇を用ひと
るハ不正
みなう^〇は

水^〇ふて
占^〇為^〇ニ
は〇
美奈宇良波倍^〇
万十七
五十七
みまのわ^〇は
黒

枕詞
〇
美奈能和多
万五
九丁
十
みまのせがは
相模
地名

か
美奈能瀬河泊
万十四
六丁

- 三二
- 三ネ
- 三ノ
- 三八
- 三フ

み^〇く^〇く^〇
醜
く〇
游你句
紀神
代
みね^〇み^〇か^〇み^〇
高峯
〇

弥祢太可美
万十七
四
十一丁
みのさ^〇か^〇の^〇び^〇か^〇く^〇
身盛
人
ひ^〇

微能佐加理毘登
古下
雄畧
み^〇け^〇か^〇
御
は〇
弥波迦志
紀
景

行
み^〇け^〇か^〇く^〇び^〇か^〇く^〇
名人
は〇
ひ^〇
美波迦斯毗賣
古中
景行

微能佐加理毘登古下 雄畧

みはか

御 是 彌波迦志 景

行

みはか

名人 は ○ ひ ●

美波迦斯毗賣

古中 景行

みはか

真柱

は ○ 美敷旨羅

紀神代

みはか

御船

ふ ○

源赴泥

紀仁美布祢

十五丁

美敷祢

十八丁

吉野の地名

のミフネ山

のふもふもふも
へてはふもふも

みはか

所日御産部

ふ ●

美文 紀皇 極

三へ

三ホ

三マ

三、

みへ

伊勢地名

へ ○

美幣

古下 雄畧

みはか

地名 園

は ○

美保

万三、四
十九丁

みはか

鳥名

●

美本

理 應神 古中

みはか

みはか

孝照天皇

志 ○

御真津日子訶惠志泥命

古中 孝照

みはか

名人

ひ ○

御真津比賣

古中 開化

みはか

崇神天皇

天皇

さ ○

ひ ●

美麻紀伊理毗古

古中 崇神

源磨紀異利

○ 漢字考三

○ 五十四

寐胡 同紀

みまじ

汝

一〇

美麻斯

續日 宣命

みまじのり

吉野地名

か●

耳我山 五丁

みまじ

大和地名

一〇 耳

梨山 一丁

三ヤ

みやまじ

名人

●

ひ〇

美夜受比賣

古中景行

みやま

みやまじ

名人

か●

ひ〇

宮主矢河枝比賣

古中 應神

かまほり仲急ハヤ、
八河江比賣比賣

みやのせがは

地名

か●

美夜

能瀬河泊 万十四
九六丁

みやま

地名

一〇

美夜自呂

万十四
五丁

みやけ

御家

け〇

弥夜氣

紀垂

弥移居

舒明

みやま

官人

ひ〇 美夜比登

古下元茶紀同
万九、七丁

某人のりかひ

とほるとあめ「家人」里人「船人」山人「あど」はるるあり。難波人
奈良人「須磨人」吉備人「あど」はるるあり。後条とふらと

ひ ○ 美夜比登 古下元恭紀同。万七、四十九丁。十八、七丁。 ぼるハ誤ニ九テ 某人とリカヒ。

とぼるとあめ家人里人山人あどハぼるあり。難波人 奈良人須磨人吉備人あどハぼる。修条とふく。

みやつかへ 仕宮 つ ○ 宮都加倍 万一、七四丁 十三、五丁 ぼるハ 誤ハ

みやはま 柱宮 は ● 美也婆之良 万七、五 十丁 みちび 流風

ひ ● 美也備 万五、十 九丁 みやこぢり 鳥 ● 美夜故村

里 万七、四 十九丁 みやこかぬ 都 か ○ 美夜古可多 万十八、 一丁

三ル 三中 三ヲ

みふまさかり 見真 盛 さか ○ 美屢摩沙可梨 紀神 代 みお

つひ老 名人 ひ ○ 御井津比賣 古中 陶化 みとつく 標 湾 つ

○ 水牟都久思 万十四、 十五丁

○牟部

△カ

△キ

むか

昔

か○

牟可之

万七、五十五丁

むかへ

迎

か○

牟

加開

古下
允恭

むかぶ

牟比遠く
名申す顔

ふ●

牟迦夫周

万五、七丁

むかひぶち

立向

ふ●

牟可比太

知

万十八、廿三丁、廿四丁

多々用
ひひ用

処もあれど、今ハ
留まらぬやめつ。

むぎ

麥

と●

武藝

万十四、廿丁

伎を用ひ
とと不正

△シ

△ケ

△コ

△サ

むくさか

榮茂

くさ○

牟俱佐加

統日
宣命

むく

榎

く○

牟久

古武
上武

紀天

むさ

葎

く●

牟具良

万十九、四十四丁

むけ

平

け○

武氣

万五、十三丁

むげ

美濃
郡名

け●

牟宜

中古

景牟義
行牟義
録姓氏

むこ

津園
地名

こ○

務古

紀神
功紀

牟故

万十五、六丁

むこへ

名人

こ●

へ○

牟五開

統紀持

牟後開

統日

むさ

景年義姓氏 録
 行
 津園
 二〇
 務古紀神 年故六丁
 六丁

むごへ 名人
 二〇
 へ〇
 年五開紀持 年後開一 續日
 むご

姓又 地名
 さ〇
 年挾社 武紀天 年佐氏 續日姓
 むご
 姓又 地名
 さ〇

年邪臣 古中武鯨三丁 武射九
 むご
 名國
 さ〇

无邪志上古 年射志八丁 誤ハ
 むご
 名獸
 さ皆〇

ひ ● 年佐佐婢七丁 射ハ 用ひとる
 むご

△シ △ス △セ △タ △ツ

むしろ 席
 〇 武志呂紀仁 年之呂二丁
 むし 虫

〇 務始紀仁 徳
 むしふま 蒸 衾
 年斯夫須麻上古

むしな 格
 〇 年士那紀重
 むしび 神 号
 ひ ● 武

須毗紀神 代
 高御産巢日神
 神産巢日神
 むしび 結
 ひ ● 武須弥紀

○ 法考三

○ 五十六

体 牟須妣 万七, 十三丁
比。敞保。と用ひ
むらびぬ丸 結
無

武須弥陀 礼 紀 継
陀。と用ひ
むらびぬ丸 生
○

武左受 万一, 十
むせび 咽
ひ ● 牟世 比
四万七, 七
比。ハ

むらびぬ丸 比
風比牟多 十
五, 十
九丁 志分牟多 月 正
むつぎ 月 正
つ ○ 武都紀 万五, 十
四丁

△十 △ウ △ロ
武都紀 万五, 十
四丁

むらびぬ丸 比
武都紀 万五, 十
四丁

難定 武奈伎 万十六, 三丁
連姓人 武良自
武良自

万八, 十 牟良自 万七, 十
群 武良登

理 古 無良等理 万七, 卷
群 茂羅玖 景
景

行 紫 さ ○ 牟良佐伎 万十四, 五丁
群

あしきさ 紫 さ ○ 牟良佐伎 万十四, 五丁
群

あしきさ 紫 さ ○ 牟良佐伎 万十四, 五丁
群

理 上古無良等理 万七, 卷十七, 卷

あしくも 群 雲

く○ 茂羅玖毛 景 紀

行

あしきさ

紫

さ○

牟良佐伎

万十四, 万五丁

あしきま

群 玉

あしき

牟浪他麻

万七, 万一丁

あしき

名人

あしき

室毗古

王 古中 開化

あしき

地名

あしき

武路我夜

万十四, 万一丁

○米部

メク

あしき

人名

あしき

目微比賣

古中 崇神

あしき

惠

あしき

● 米具美

万十七, 万五丁

あしき

懸

あしき

米具斯

万五, 万七丁, 万十七, 万一

丁

あしき

邊

あしき

米具利

万十八, 万九丁

あしき

廻

あしき

米具利

万十七, 万十八丁

メサ

メタ

メツ

メト

メヒ

光るげ 上召 け ● 咩佐宜 万五、七 六丁 ● 筑紫、 地名 〰 ○ 米

多君 古中應神 繞日三卷 ● 名人 名 人 〰 ● 梅豆羅古 紀維 体 ● 光

見希 ● 梅豆羅志 紀神功 万 五、十六丁 ● 愛 〰 ●

梅涅梅豆 紀允 米 伍 万十五、 七丁 ● 名人 〰 ● 賣 杼理 古 下

仁謎 迺利 紀 〰 ● 越中、 地名 〰 ● 賣比 万十七、 四十八丁

○毛部 毛コ 毛ス

許如の 〰 ● 毛古 古中應神 毛胡 紀仁 〰 ● 凡てかくさるものこ。 ハルヤニモココハ

〰 ● 如ト云ニ 〰 ● 母許呂 万十四、 七三丁 母巳呂 七

八 〰 ● 鳥 〰 ● 毛受 古下 仁德

毛夕 毛午 毛ト

八
丁
拔
ハ
ハ

鳥

鳥

毛

受
古
仁
德
下

モ夕

モ午

モト

然默

然默

母太

母太

母太

鳥

鳥

鳥

鳥

鳥

鳥

鳥

母智騰利

母智騰利

母知

母知

母知

母知

母知

母知

母知

母知

不
心

母等米

母等米

母等米

母等米

母等米

母等米

母等米

母等米

母等米

母等奈

母等奈

母等奈

母等奈

母等奈

母等奈

母等奈

母等奈

母等奈

母等奈

母等奈

母等奈

母登奈

母登奈

母登奈

母登奈

母登奈

母登奈

母登奈

母登奈

母登奈

母登奈

母登奈

母登奈

母登富理

母登富理

母登富理

母登富理

母登富理

母登富理

母登富理

母登富理

母登富理

母登富理

母登富理

母登富理

古中茂等

古中茂等

古中茂等

古中茂等

古中茂等

古中茂等

古中茂等

古中茂等

古中茂等

古中茂等

古中茂等

古中茂等

モノ

モ三

姓

姓

物部

物部

物部

物部

物部

○ 法部考三

○ 五十八

船百
ふ○
毛母布祿 万十
九丁
もくくま 隈百
く○
毛母久麻 万五
二丁
もくくさ 種百
く○
毛

毛久佐 万五
九丁
もくくま 隈百
く○
毛母久麻 万五
二丁
も

中り 百
中○
毛毛等利 万五
七丁
もくか 日百
か○
も

毛毛可 万五
四丁
もくふる 足諸
も ●
毛毛陀流 古下
雄畧
も

ちふる
ち○
ふ ●
毛毛知陀流 古中
應神 茂茂智儻
盧

紀 此外某ぶると
り 皆ほし
もくつしま 鳴百
つゝ○
母毛豆思

麻 万十四
六丁
豆を用ひる
もろひ中 諸
ひ○
毛呂比登

万五十六丁十
八丁十八丁
もろさふぬ 船名
さ○
母慮紀無 紀
徳 孝

夜部
ヤカ
ヤキ
ヤク

やかみひ免 神
号 び○
八上比賣 古
やがえひ免 神
号 か

○ 法考三

○ 五十九

● ひ○ 八河江比賣古 かよほるゆゑハ次
● やがほえ

木の
繁ラ云
か ● 夜賀波延古下 耶餓波曳紀
祝詞久と用
ひとるハ不正

● やがぬく
堅昨日上
か ● 夜賀多久古下 雄畧
● やさぬち
大焼

刀
ぬ ○ 夜伎多知万十八丁
● やく
名國
く ○ 夜

句掖玖紀推
古
● やくもぬつ
出雲
枕詞
ぬ ○ 夜久毛多都古 夜

句茂多菟紀神
代
● やさ
● やし

● やさかぢり
八尺
さか ○ ● 也左可杼利万十四丁

● やさし
耻
さ ○ 夜佐之万五丁
● やしよぐぬみ
号神

下
● 八島士奴美神古
神代紀八嶋篠の訓注ス
奴とあるハ誰ちて注す伊

● やしよぐぬみ
八島
く ○ 夜斯麻久尔古 野絶磨俱你

● やしよぐぬみ
八島
く ○ 夜斯麻久尔古 野絶磨俱你

下、
● 八島士奴美神
上古
神代紀に八嶋竹篠の訓に注す。新
奴とあるは、離ちて注すに伊

夜須美斯志
古下雄畧
夜輸
夜須米受
万七、
二丁

紀
夜之呂
万七、
二丁

柳始儺播務
紀仁
德

ヤス
ヤソ

夜須
近江郡
人名
安古中益須
紀持夜須王
續日野洲郡
三

和名
夜須のがは
天上、
ある川、
名
か
夜洲能河波
万十八、
三丁

安志
夜須久
古下
夜須米受
安所
知食
志

夜須美斯志
古下雄畧
夜輸
夜須米受
万七、
二丁

夜須
万七、
一丁

武人の
多キ志云
夜須米受
万七、
二丁

○ 徳富考三

○ 六十

伴八緒
夜蘇登毛乃半
夜蘇
八十

夜蘇久尔
夜蘇
八十

許登
夜蘇
八十

迦
八十毗羅訶
八十毗良

ヤ夕
ヤ夕
ヤツ
ヤト

夜多
夜多
夜多
夜多

夜知
夜知
夜知
夜知

夜知久佐
夜知
夜知

夜都米佐須
夜都
夜都

夜都
夜都
夜都
夜都

不
夜都
夜都
夜都

万十八、
 六丁
 やぐ 屋
 や ● 夜杼 万十五、
 四丁 夜度 同十
 六丁 登等を
 用ひと

り
 不正

ヤナ
 ヤフ
 ヤヘ
 ヤホ

やなぎ 柳
 さ ● 夜奈義 万五、十
 五丁 六、卷二 枳を
 ひふれ 八不正
 やぶ

下まり 八節 結
 ふ ○ 夜布士麻理 古下
 清寧
 やぶる 破

ふ ● 破夫利 万十六、
 九丁
 やぶなみ 地名
 ふ ● 夜夫奈美

万十八、
 八丁
 やぶけ 藪原
 ふ ● は ○ 野父播羅 紀皇
 極
 や

へがさ 八重垣
 か ● 夜幣賀岐 古上
 夜霸餓 枳紀神
 やほこ

八 ○ は ○ 夜保許 万十八、
 七丁
 やほふ 築の
 枕 代
 は ○ 夜

本尔余志 古下
 雄畧

ヤナ
 ヤミ
 ヤラ

○ 法考三

○ 六十一

やまや 名國 夜麻登 古書紀 騰を用 八不正

先 名人 ひ ○ 倭比賣 古中 誤 命 倭武

先 ○ 二ハカヨ書ハカヨルレドモイづモウケケルノ 命 倭武

先 名人 やそ ○ ひ ● 夜麻登登母母曾毗賣命 古中 孝聖

まゝるがは 山城 〓 ○ 夜麻志呂賀波 古下 椰茶

之呂 餓波 同紀 やまがは 山小 耶麻駝 播紀 孝

山と川とを流す 山と川とを流す 山と川とを流す 山と川とを流す

りつ。又山と里とを流す 山と川とを流す 山と川とを流す 山と川とを流す

娜 月紀 やまびや 山 夜麻妣等 万九 十丁 やまび 山邊

ひ ● 夜麻備 万十四 四丁 やまびこ 谷響 ひ ● 山妣故 万八 九八

丁十五 九二丁 やまぢ 山道 ち ● 夜麻治 万十四 四丁 やまぢさ 山

ひ

● 夜麻備 万十四, 四丁

やまびこ

響谷

ひ ●

山此故 万八, 九

丁, 十五, 九二丁

やまち

山道

ち ●

夜麻治

万十四, 四丁

やまちさ

山

ち ●

山治左

万七, 七, 五丁

やまやうり

山鳥

や ●

夜麻村里

万十四, 九一丁

やまぶかみ

高山

ふ ●

夜麻陸加美

古下 柳摩娜

箇弥 月紀

やまがふ

山縣

か ●

夜麻賀多 上古

やまうへ

姓

へ ●

耶麼能謎

紀雄 畧

やまぶさ

冬款

ふ ●

夜麻夫伎

万葉 多

やまふづ

山新

ふ ○

つ ●

夜麻多豆

古下山 多

頭 万六, 五丁

やまさくら

山櫻

さ ○

夜麻左久良

万十七, 九七丁

万二, 二丁

やまさけびや

山澤 人

さ ○

ひ ●

夜末佐波此

登 万十四, 九丁

やまさち

山幸

さ ○

山佐知 上古

やまふ

山下

○

夜麻之多

万十九, 十五丁

やまか

山故

か ○

山可

○ 法皇考三

○ 六十二

○由部

ユキ

ゆ

齋忌

よ○

踰既

武紀天

由紀

古語拾遺

ゆ

雪

よ○

由

吉

五丁五, 由棄九丁十

ゆ

靱

よ○

●難定

由岐

古紀推

由伎

万九, 十九丁, 五十丁.

ゆ

足行

よ○

由伎多良波之

万九, 十九丁, 四十

十一丁

ゆ

行暮

く○

由伎久良之

万十七, 四十八丁

具用

ゆゑに処もあれど、今ハ法書ニ從ひつ。

ユク

ユコ

ユス

ユタ

ユツ

ゆ

行

く○

喻俱

烈武

万葉ニ遊群ハ由賀奈るどあるハ不正。

ゆ

寛

よ

先行

よ○

由古作枳

万丁, 卅丁

由久左伎

三丁四十

ゆ

寛

く○

由久良由久良

万十九, 卅丁

ゆ

人名

よ○

且波,

由碁理

古中開化

ゆ

勤

よ○

由須理

万七, 卅四丁

ゆ

寛

ゆ○ 由多 万十一、三丁

ゆづる 移

ゆ○ 由都利 万十四、四丁

ゆづる 讓

ゆ豆利 石 仏足 石哥

こハ、外ハ、かろしと又あるらぬを、姑くよりぬ。

ゆづるは 名木

ゆ豆流波 万十四、五丁

ゆづか 東弓 づ

● 由豆加 万十四、三丁、都を用ひしものハ、正しうぞ。

ユハ

ユフ

ユラ

ユル

ゆはま

弓 花 ● 弓波受 万二、五丁

ゆふまゑま 名地

ふ○

遊布麻山 万十四、二丁

ゆふかは 吉野、地名

ふ○ 遊副川 万一、十九

ゆふかは 吉野、地名

は○ 結ハ川 万七、八丁

ゆふは 日夕

ひ○ 由布比 古下 雄畧

ゆづつくよ 夜 夕月

ゆ布豆久

欲 万十五、十八丁、凡て、古言ハ、月夜をツキヨトハ、いさむが、ツクヨトのミ古書ハあり。

ゆふさき

夕務

●

由布宜利 万十四、五丁、由布義理 万、五十、四丁

ゆふけ 占夕

欲 万十五, 凡て古言ハハ月如をツキヨトハ
 十八丁 いましがツクヨトのく古書ハあり
 ゆふさのり

霧 夕
 せ ● 由布宜利 万十四, 由布義理 万, 五十
 四丁 占 夕
 ゆふけ

け ○ 由布氣 万十四, 九一丁
 ゆふさ 夕
 潮 夕
 志 ○ 由布思保

万九, 十
 八丁 方 夕
 へ ○ 由布弊 万五, 九丁, 九, 十
 三丁, 四十五丁 由布

敵 十九, 九六丁, 四十
 八丁, 十四, 五丁 倍を用ひくふハ不正
 ゆらく 夕
 りゆ

くす
 負 へ ○ 由良加志而上古由良久 万九, 五
 十八丁 非 へハ
 ゆ

ふ
 緩 ふ ○ 由流布 万十七, 四
 十七丁

○ 與部
 ヨク
 ヨコ

よく 避 く ○ 與奇 万七, 九
 一丁 與久 九, 十一丁, 十五, 九三丁
 よくも 横 白

く ○ 余久須 古中豫區周 紀
 應神 同 更 夜
 く ● ぬ

○ 後考三

○ 六十四

○ 夜具多知 五十丁 昨日。後居を下上 二丁 歩横

行 こさ ○ 余許佐良布 古中 應神 よこなま 訛 こ ○

與許奈磨廬 武紀神 よこもろ 隱夜 こ ● 欲其母理 五十丁

よこ 吉事 こ ● 餘其騰 五十丁 騰を用ひ ハ不正

ヨサ ヨシ

よさみ 姓地名。依網 よさ ○ 豫佐源みいけ 紀應 神 よさ 寄

さ ○ 與佐斯 続日宣命 後式帳 非 よさ 丹波郡 さ ●

餘社 紀雄 譽 謝王 五十丁 よ 縁 よ ○ 餘志 五十丁

よ よ よ 皆 ○ 與之惠也之 五十丁 寺 よ

ハ正し よ

ヨス ヨセ ヨソ ヨタ

ふち 処もある
ハ正一らしき

ヨス
ヨセ
ヨソ
ヨ夕

よまか
因 處
か
余須可
万十六
九五丁
誤るハ
よせつな
寄 網

せつ
○ 與西都奈
万十四
十三丁
よまほび
名 人
ひ ●

余曾多本毗賣命
古中
懿德
よそひ
東 裝
そ ○
與曾比
古上 万
九十七

丁 譽贈比
紀神
代
よそる
寄
そ ○
與曾理
万四
八丁
十
余所留

十三
三丁
よそへ
此ヲ彼ニ
比スルニ
そへ ○
與曾倍
万八
十五丁
倍を用
ひとる

ハ不
正
よそ
外
そ ○
與曾
万十五
十三丁
余増
十七
四
よまち

役 東
語 繼
よ ●
欲太知
万十四
九二丁
よまけ
竹 節
よ ●
余囊開

紀 繼
体

ヨチ
ヨト
ヨノ
ヨハ
ヨヒ
ヨフ

○ 法考三

○ 六十五

よち 同齡の 童子云 ち○ 余知 万十四、十七、十九丁 よち 攀 ち○

鎮治 万九、十丁 知。を用ひよ。 水、深处 地名又 ぬ ● 鎮騰 万四、十三

丁 余藤 三、九丁 等をを用ひよ。 ぬ ● 瑳用 廼虛

紀仁 万葉元二、等をを用ひよ。 ぬ ● 夜、明 ぬ ● 夜之

總杼呂 万四、五十三丁、八、元六丁 ぬ ● 婚 は ● 用婆比 上古

宵 ひ○ 與比 万十四、元丁 ぬ ● ぬ ● 每夜 ぬ ● 欲布祢 万十、五、十

丁一 ぬ ● 呼 ふ ● 與妣 万十五、十六丁 ぬ ● 比。を用ひよ。 ぬ ●

ヨモ ヨル ヨロ つ○ く ● 譽母都俳遇比

よもつへぐし 黄泉の炊爨の物を食フ。 黄泉と、顯 ぬ ● 余母都比羅佐

代紀神 よもつひさか 黄泉との境 ぬ ● 余母都比羅佐

可代紀神 よもつさ 蓬 さ ● 余母疑 万十八、元丁 よもつかのい

代紀神

よもつひささか

黄泉と、顯境

よ

余母都比羅佐

可代紀神

よもさ

蓬

よ

余母疑

五十八

よるかのい

け 大地名和

か

因ヨル

可乃池イナ

十九丁

よるはさか

終夜か

● 欲流波須我良

万十五、廿一丁、四、廿四丁

よるさ

相模郡名

よ ○ ● 難

定 余呂伎

七万十四丁

よるつ

つ ●

余呂豆

紀推古万十七、四十

丁一 寄

よるはひ

よ ○

豫呂朋辟言紀仁

よるふ

物形、調

ふ ○ 與呂布

七万一丁

○ 良部

ラク

ラシ

ラス

ラヒ

云々

云々、神

く ○

とぬさむとす羅句

紀崇あか

つ 良久

二万四、十丁

み 良久

一六、十丁

ふ 良久

四、五十丁

ありけ 良久

五日

○ 法考三

○ 六十六

十二 丁
云々
辞
○
不平坐良志
古中
神武
良信
万六

十六 丁
ふけぬ良新
九、十
二、丁
こもりふけ良思
三、四
五、丁
志をひよけ

良進
九、十
丁
ちる良新
十、四
丁
ひさしくあ良志
十、五
丁

知ルベ
云々
ふ、伸と
は、
を○
日おてや良須
古下
仁徳い

日良選素
代紀神
かめいほつく良須
一、十
丁
るつ良須
五、十
三、丁

す良酒
十、四、九
五、丁
云々
下、付、云々
ひ○
いひづ良賓
十、万

三、九
告良比
八、九、十
丁
か、良比
八、十
丁
紀、毗、を、用、ひ
と、ハ、石、正、

和部

ワカ

わかさなえ
神号
若沙那賣
神
上古
わかぬけ
人名
か

け○
和訶奴氣
王
古中
成務
わかひえ
人名
ひ○
若比賣
古下
継体

わかさなえ

神号

と○

若沙那賣神

上古

わかぬけ

人名

か

け○ 和訶奴氣王

古中 成務

わかひえ

人名

ひ○

若比賣

古下 継体

わかさ

名國

と○

若狭

古中 仲哀 万七, 十六丁

わかづがは

山城 二あ

名川

か○

和訶羅河

古中 崇神

わかしへるて

若雞 頭樹

下, かも

て○

和可加敵流氏

万十四, 五丁

わかくそ

若草

く○

和加

久佐古倭柯俱婆明紀齊

わかくへ

若方

へ○

和加久閑

古下

雄畧 万葉十六 二 身若可 倍とあゆハ不正

わかれ

別

か○

和可礼

万九, 七

丁十九, 元丁二 我も用 ひとしれハ不正

わがへ

我家

か●

へ○

和我

覇 万五, 十 和何弊

日十 七丁

ワキ

ワク

ワケ

ワコ

わさづさ

脇 机

つ●

和岐豆紀

古下 雄畧

わざへ

我家

さ●

○ 法皇考三

○ 六十七

へ ○ 和藝幣 古下仁德紀景 行五十八、九丁。 金伎を用ひ

子 さ ● こ ○ 倭蟻暮 紀繼 和藝毛故 万十九 わくこ

子若 こ ● 和俱吾 紀繼体 和區吳 欽明 わくこひ老 人名 こ

● ひ ○ 若子比賣 古下 わく湧 く ○ 和可世 万十

丁六 わくらば 迨 く ○ は ● 和久良婆 万五、九丁 わ

け 又人^ラ賤^免て云^称。 姓^又も^{あり}。 け ○ 和氣 万八、九丁 和期大皇 十八、十一丁、六、十 わぶおほ

そみ 我王 こ ● 和其大王 万九、五丁 和期大皇 十八、十一丁、六、十

ワサ ワシ ワス ワセ

わさみぬ 美濃地名 さ ● ま 和射見 万二、四丁、十、六十三丁 わざ 業

● 和射 万四、四十九丁 わし 鷲鳥 一 ○ 和之 万十四、四丁 わし

走 出 て ● 趨出 万二、八丁 雄畧紀ふ底を用ひ

わどこ 人名

和射 万四、四十九丁

わし 鷲鳥

し〇

和之 万十四、四丁

わしり

走出 て ●

越出 ワシリデ 万二、八丁

雄畧紀ふ底を用ひとほハ不正

わどり 名人

和慈古 明紀舒

わをれがひ

貝志

か ● 和

須礼我比 万十五、十四丁

わせ 早稲

せ〇

和世 万十四、九丁

ワタ

ワチ

ワツ

わふづ

石見地名

ふ〇 つ ●

和多豆 万二十、八丁

わふつみ

海

和多都美 紀神代 万十五、六丁、十八、三丁、十九、九丁

和多利涅 紀仁 渡代 万十、六丁

わ 今本ニ渡 伐とある

ふりて

渡 処

て ●

和多利涅

紀仁 渡代

万十、六丁

今本ニ渡 伐とある

ハ代の誤るべし。又出紀ニ。渡のと又駄を用ひとほハ不正

わふりせ

昨日渡処よと云

和多理是 古中 應神

わふ

綿

ふ〇

和多 万十四、四丁

わ

ふ

曲浦

ふ ●

大和太

万十七丁、六、四十七丁

善和太

七、十一丁、三、一丁

わ

〇 後考三

〇 六十八

ちつみ 人名
ちつ〇 和知都美命 古中
わづゝひのうし

神号
つ ● 和豆良比能宇斯能神 上古
わづゝひ 煩 っ ●

和豆良比 万五、廿八丁
わづかやま 地名
つ ● か〇 和豆

香山 万三、五十八丁

ワナ
ワニ
ワヒ
ワラ
ワ、

わなまき 身震 動負
和那那岐 古中 神武
斗呂岐伊須々

岐の岐もふるまふれ
わふのひふれ 人名
ふ〇 九途之比

布礼能意富美 古中 應神
わふさ 大和地名
九途坂
さ〇 和途佐古

應神
わび 伴
ひ ● 和備 古上 万四、廿四丁
あふひ和夫礼て 万十、五、廿

五丁
わづは 童
は〇 和良波 万二、十、八丁
わらび 薇 蕨
ひ ●

和良妣 万八、十、四丁
わしけ 弊
け〇 和和氣 万五、廿丁

丁五
 わらび 童
 は○
 和良波 万二丁十
 わらび 薇
 ひ●

和良妣 万八丁十
 わしけ 弊
 け○
 和和氣 万九丁

○鳥部
 井カ
 井ク
 井テ
 井ナ

おが
 木又鳥の居テ
 おとと落す
 か●
 多章賀良斯 古中
 應神 多委餓

羅辞 月紀
 おぐひ 堰
 く●
 章具比 古中
 應神 委愚比 月紀
 おて

山城地 名又姓
 て○●
 難定 井提 万十一丁
 井出 姓氏 録
 おて 塞水

て○●
 難定 井提 万七丁十
 おるへ 伊勢郡名
 へ●
 偉儼

謎 紀雄 負 辨和名
 畧抄

○惠部
 上カ
 上ク

名が

地名、

か ●

惠賀

古中衛我
紀天

名草

く ●

惠具

五十、七丁、十
一、九丁

名

咲酒

く ●

惠具志

古中
應神

正八

正二

正三

名は

名人

は ○

惠波

古下
宣化

名

咲

ひ ○

惠麻比

五十、七、五
十五丁

名みさかえ

咲

と ○

惠美佐迦延

上古

○ 袁部

ヲカ

名かみがは

越中、
川、名

上、
か ○

下、
か ●

平加未河泊

五十、
七、四

十九丁

名か

筑前、
地名

か ○

名か

一丁

塙舸水門

筑前風
土記

和名抄、遠賀、
とあるハ非之。

名かち

道

かち ○

平加耻

五十、
九丁

名かび

邊

ひ ●

平加備

五十、
八丁

五、卷、肥、
を、用、
ひ、く、る、ハ、不、正。

名か

和名抄。遠賀とあるハ非也。

をかち道

かち○半加耻 万十四丁

をかび

邊

ひ●

半加備

万十七丁

五、卷二肥を用ひるハ不正。

をか

さき

岬丘

さ○

塙介佐桑

武紀神

ヲキ

ヲク

ヲケ

ヲコ

をさむく

招禱

さく○

遠岐

上古半伎

万十九丁

呼久

十七丁

誤

をさ

菽

さ●

半疑

万十四丁

をくら

岫、発語

く

● さ○

半具奇

万十四丁

をくら

男童

く●

鳥具那

古中

景行紀

をけ

顯宗天皇

け○

表祁王

古下安康

弘計

紀顯宗

をけつ

ひ免

名人

けつひ皆○

表祁都比賣命

古中

をけ

竹麻 け

○ 表家

万十四丁

をさ

名人 二一○

○

尾興

紀安 半已志

日結

を二

愚

二○

表許

古中 于古 月紀

○ 法考三

○ 七十

ヲサ
ヲシ
ヲス
ヲソ

納
さ○
半左米
万十七,
卅一丁
大
さ○

半佐半佐
万十四,
卅九丁
小
さ○
半佐刀
万十四,
卅五丁

人名
さ●
表邪本, 王
古中
卅化
二八大和の佐保よりぬる名に
武烈紀よりよるもる鳴佐褒

とあるハ不正なるもの云
とよりよるもる鳴佐褒
鹿
さ○
鳴之愿能

古
畧
雄
鹿
さ○
半之可
万九,
十
五丁
鴛

や●
半之柙里
万六,
十一丁
惜
さ○
半思
万十七,
四十二

丁
食
く○
半須久尔
万十七,
四十二
丁, 四十三丁

鳥
さ○
や●
半曾柙里
万十四,
卅八丁
さ○
半榮浩
峯ニ

そ○
鳴贈祢
宗紀顯

ヲタ
ヲチ

そ ○ 鳴贈祢 紀顯 宗

ヨ夕
ヨ千

よふけひ 健 ぬ ○ 鳥多替眉 紀神 代 ぬ ○ ぬ ○

表陀氏 古下仁 德 紀 日 谷 岑 ぬ ● 表陀尔 古下 影宗 ぬ ○ ぬ

大和地名 又人名 ち ○ 越智娘 紀天 智 越智野 万二丁 ぬ ○ ぬ

宇治地名 ちか ○ 鳥智箇多 紀神 功 ぬ ○ ぬ 此地 ぬ ○

平知許知 万十七卷十 九卷九卷 ぬ ○ 原日始の処へ又帰る可也 ぬ ○

○ 平知 万五十八丁十九丁十七 四十五丁九四十六丁 ぬ ○ ぬ ぬ ○ 鳥賦

紀皇 平治 万十七丁 四 ぬ ○ ぬ ぬ ○ 表遲那美 古下 清寧

ヨツ
ヨテ
ヨト

よつのはら 伊勢地名 ぬ ○ 表都能佐岐 古中 景行 ぬ ○ ぬ ぬ ○

○ 伊勢考三 ○ 七十一

語筑

つ ●

平豆久波

十丁 万十四

都を用ひるハ不正

あてもこ

のこ

彼面此面

てこ ○

平底毛許乃母

五丁 万十四

平底母許乃

毛 十七、四、十六丁

とやこ 男

とやこ 表等古

古上紀 神代

とやこ 女若

や ○

鳥等呼

紀神 代

平登賣

九丁 万十七

とやつひ

一昨日

や

つ ○

平等都日

十六丁 万十七、四

とやひる

名人

や ●

ひ ○

表杼比賣

古下 雄畧

とや

地名

や ●

平度

十二丁 万十四

とやこ

とやこ 祭

二 語床

や ●

平杼許

四丁 万十四

平騰許

三丁 万十

とやこ

躍

や

● 平杼利

十丁 万五、四

平騰流

十丁 万九

ヲナ

ヲノ

ヲハ

とやこ

名人

く ○

鳥那羅俱

紀崇 神

とやこ

名人

へ ●

表那辨, 即女

古中 鳥儼謎媛 同紀

古子 記垂仁, 段又。表那辨, 王 表那 邪ハ 邪の 誤不て。表

人名
 く○ 鳥那羅俱
 紀崇
 人名
 へ●

表那辨，即女
 古中鳥儼謎媛
 紀
 古子記垂仁，段又。表邪辨，王

那辨るるべし。那を邪と誤り
 とあがりしを。此におひるも
 名國は○ 表波理
 古中景行。

倍○ 万七，十
 三丁 倍を用ひし
 終は○ 平波里
 万十八，丁 平布流遠
 敬 十四，丁

紀 終は○ 平波里
 万十八，丁 平布流遠
 敬 十四，丁

薄 ばな 是は● 平婆奈
 万七，丁 十三丁 是はや
 林 祭語

は● 鳥麻野始
 紀皇 極 云くはば
 此辞は● 二遠婆
 上古

日がて鳴磨 紀 継 ぬ平婆るる
 万十四，丁 十九丁 さらち平婆
 万五，丁 十四

丁 波を用ひし
 万七，丁 平布流遠
 敬 十四，丁

ヲフ ヲホ ヲ三 ヲモ

越中，地名 平布
 万十七，丁 平敷
 万十八，丁 船小
 ぶ

○ 後考三
 ○ 七十二終

● 表夫祢 古下仁徳万十四六
● 表 丁十七四十二丁
● 表 継体天皇

本杼命 古下継体
● 平美奈弊之 万葉

平謀苦留留 紀神代

ヨイ
ヨエ
ヲロ

● 小石比賣命 古下宣化
● 鳥呂餓弥 紀推

● 小兄比賣 古下欽明
● 烏呂餓弥 紀推

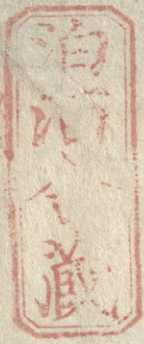
古

古

古

古

古



石塚藏板

かろつらふ奥の山道
志 葛 系

右近刻

享和元年辛酉秋發行

製本弘所 書林

勢州松阪日野町

柏屋兵助

京都二条通柳馬場東大町

林 伊兵衛

同寺町通四条上町

錢屋利兵衛

同御幸町通御池下町

菱屋孫兵衛

